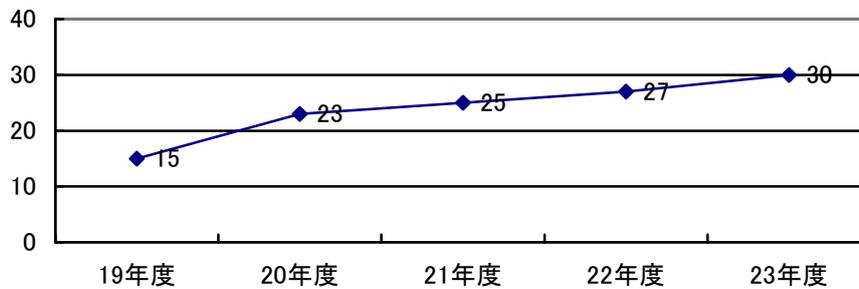


Ⅲ. 試験免除・特別選考等

試験免除及び特別選考の実施概要

平成23年度選考試験において、特定の資格や経歴等を持つことによる一般選考における試験免除や特別選考をしたのは65県市であり、うち試験免除は46県市(前年度46県市)、特別選考は59県市(前年度57県市)で実施した。また、特別免許状を活用した選考は、30県市(前年度27県市)で実施した。

特別免許状を活用した選考



1 特定の資格や経歴を持つことによる試験免除

特定の資格や経歴を持つことによる試験免除のうち、

- 英語の資格によるもの……………21県市(前年度24県市)
- 教職経験によるもの……………33県市(前年度31県市)
- 前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによるもの
……………21県市(前年度17県市)

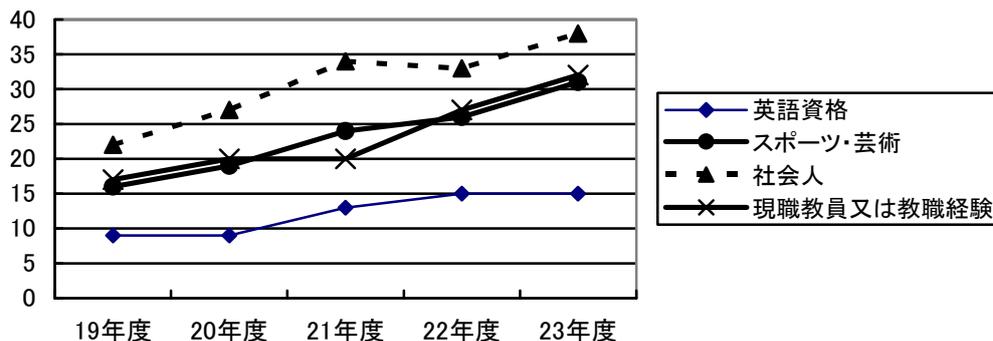
など、その他特定資格を有する者について免除を実施する県市があった。

2 特別選考

特別選考のうち、

- 英語の資格によるもの……………15県市(前年度15県市)
- スポーツ・芸術での技能や実績によるもの……31県市(前年度26県市)
- 社会人特別選考によるもの……………38県市(前年度33県市)
- 教職経験によるもの……………32県市(前年度27県市)

など、その他特定資格を有する者について特別選考を実施する県市があった。



資格や経歴等の例	特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除・特別選考																特別 免許状 を活用
	選考方法	一部試験免除・特別選考	何れかの一部試験免除 ※	何れかの特別選考 ※	英語の資格		スポーツ・芸術での技能や実績		国際貢献活動経験		社会人経験		教職経験		244 ページ 参照		
					一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考			
					84 ページ 参照	150 ページ 参照	98 ページ 参照	158 ページ 参照	102 ページ 参照	216 ページ 参照	137 ページ 参照	173 ページ 参照	104 ページ 参照	196 ページ 参照			
1 北海道	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
2 青森県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
3 岩手県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
4 宮城県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
5 秋田県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
6 山形県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
7 福島県	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○		
8 茨城県	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○		
9 栃木県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
10 群馬県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
11 埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
12 千葉県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
13 東京都	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
14 神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
15 新潟県	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○		
16 富山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
17 石川県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
18 福井県	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○		
19 山梨県	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○		
20 長野県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
21 岐阜県	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○		
22 静岡県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
23 愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
24 三重県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
25 滋賀県	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○		
26 京都府	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
27 大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
28 兵庫県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
29 奈良県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
30 和歌山県	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○		
31 鳥取県	○	○	○	○	○	○	○								○		
32 島根県	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○		
33 岡山県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
34 広島県	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○		
35 山口県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
36 徳島県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
37 香川県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
38 愛媛県	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○		
39 高知県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
40 福岡県	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○		
41 佐賀県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
42 長崎県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
43 熊本県	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○		
44 大分県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
45 宮崎県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
46 鹿児島県	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○		
47 沖縄県	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		

資格や経歴等の例	特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除・特別選考															特別免許状を活用			
	選考方法	一部試験免除・特別選考	何れかの一部試験免除 ※	何れかの特別選考 ※	英語の資格			スポーツ・芸術での技能や実績			国際貢献活動経験		社会人経験		教職経験				
					一部試験免除	特別選考	特別選考	一部試験免除	特別選考	特別選考	一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考	一部試験免除		特別選考		
																		84 ページ 参照	150 ページ 参照
48 札幌市	○	○	○	○	○		○		○			○	○	○	○	○	○	○	
49 仙台市	○	○	○	—	—					○	○		○	○	○	○	○	○	
50 さいたま市	○	○	○							○		○	○	○	○	○	○	○	
51 千葉市	○	○	○	○	○							○		○	○	○	○	○	
52 川崎市	○		○							○		○	○	○	○	○	○	○	
53 横浜市	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
54 相模原市	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
55 新潟市	○		○			○	○	○				○		○	○	○	○	○	
56 静岡市	○		○											○	○	○	○	○	
57 浜松市	○	○	○											○	○	○	○	○	
58 名古屋市	○	○		○	○		○	○						○	○	○	○	○	
59 京都市	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
60 大阪市	○	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
61 堺市	○	—	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
62 神戸市	○	○							○	○		○	○	○	○	○	○	○	
63 岡山市	○		○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	○	
64 広島市	○	○	○											○	○	○	○	○	
65 北九州市	○	○	○											○	○	○	○	○	
66 福岡市	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	65 (64)	46 (46)	59 (57)	36 (39)	21 (24)	15 (15)	35 (31)	7 (6)	31 (26)	20 (18)	5 (5)	15 (13)	44 (39)	7 (7)	38 (33)	61 (56)	33 (31)	32 (27)	30 (27)

(注) 1 下線は前年度から変更のあった県市を表す。

2 ()は前年度の数値である。

※ 「何れかの試験免除」「何れかの特別選考」は、上記「英語の資格」「スポーツ・芸術での技能や実績」等以外の資格や経歴等による試験免除、特別選考を実施しているものも含む。

1 特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除

試験免除のための資格や経歴等	特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除									特定の資格や経歴等を持つことによる加点制度
	一部試験免除	英語の資格	情報処理に係る資格	スポーツ・芸術での技能や実績	国際貢献活動経験	教職経験	前年度の採用候補者名簿登載者であること	前年度第1次試験(第2次試験)合格者であること	その他	
		84ページ参照	95ページ参照	98ページ参照	102ページ参照	104ページ参照	127ページ参照	130ページ参照	137ページ参照	
1 北海道	○	○	○			○		○	商業に係る資格	
2 青森県	○					○				
3 岩手県	○					○	○			
4 宮城県	○	—			○	○	○		社会人経験	
5 秋田県	○					○				
6 山形県										
7 福島県	○	○						○		
8 茨城県	○	○		○	○	○				
9 栃木県										
10 群馬県										
11 埼玉県										
12 千葉県	○	○				○				
13 東京都	○	○				○	○		前々年度名簿登載者 平成22年度期限付任用 教員名簿登載者 社会人経験	
14 神奈川県										
15 新潟県	○			○						
16 富山県	○							○		
17 石川県										
18 福井県	○	○		○	○	○			教職大学院在学者	
19 山梨県										
20 長野県										
21 岐阜県	○					○		○		
22 静岡県										
23 愛知県	—						—			
24 三重県	○	○	○							○
25 滋賀県	○	○				○		○		
26 京都府	○	○				○		○		
27 大阪府	○					○		○	大学院進学者対象	
28 兵庫県	○					○		○	社会人経験	
29 奈良県	○							○		○
30 和歌山県	○	○				○		○		
31 鳥取県	○						○			
32 島根県	○					○				
33 岡山県										
34 広島県	○							○		
35 山口県	○	○				○		○		
36 徳島県	○	○					○			
37 香川県	○	○								
38 愛媛県										○
39 高知県	○	—				○		○		○
40 福岡県	○	○	○			○		○		
41 佐賀県	○					○		○		○
42 長崎県	○			○		○				
43 熊本県	○					○				
44 大分県	○							○		
45 宮崎県	○	○				○				
46 鹿児島県	○	○		○						
47 沖縄県	○			○		○			社会人経験	

試験免除のための資格や経歴等	参照ページ	特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除								特定の資格や経歴等を持つことによる加点制度	
		一部試験免除	英語の資格	情報処理に係る資格	スポーツ・芸術での技能や実績	国際貢献活動経験	教職経験	前年度の採用候補者名簿登載者であること	前年度第1次試験(第2次試験)合格者であること		その他
			84ページ参照	95ページ参照	98ページ参照	102ページ参照	104ページ参照	127ページ参照	130ページ参照		137ページ参照
48 札幌市	○	○	○			○		○	商業に係る資格		
49 仙台市	○	—			○	○	○		社会人経験		
50 さいたま市	○						○				
51 千葉市	○	○				○					
52 川崎市											
53 横浜市											
54 相模原市											
55 新潟市											
56 静岡市											
57 浜松市	○					○	○				
58 名古屋市	○	○		○		○			なごや教師養成塾卒業見込の者		
59 京都市	○	○				○		○	博士号取得者 社会人経験		
60 大阪市	○					○		○			
61 堺市	—							—			
62 神戸市	○				○	○			社会人経験		
63 岡山市											
64 広島市	○							○			
65 北九州市											
66 福岡市	○	○	○			○		○			
	46 (46)	21 (24)	5 (5)	7 (6)	5 (5)	33 (31)	8 (9)	21 (17)	12 (13)	5 (4)	

(注) 1 下線は前年度から変更のあった県市を表す。
2 ()は前年度の数値である。

(1) 英語の資格による免除

(北海道)

対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校(中等部、高等部)の英語	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	中39 高49	歳以下				
資格要件	①実用英語技能検定1級、準1級の合格者 ②国連英検特A級、A級の合格者 ③TOEFL PBT550点(iBTの場合は、79点)以上取得者 ④TOEIC 730点以上取得者							
資格要件の確認方法	資格証明書(開封無効)による確認、又は出願時に資格を証明できる書類の写しを提出した場合は第一次検査時に持参した当該資料の原本を確認。							
免除される試験科目	第一次検査:英語専門検査(Ⅰ)、第二次検査:英語実技検査							
免除された試験に代わり課される試験	該当なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		52	75	1			128
	平成21年度採用者数(名)		22	14				36
	平成22年度受験者数(名)		47	107	1			155
	平成22年度採用者数(名)		17	40				57
	平成23年度受験者数(名)		83	98				181

(福島県)

対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校中学部及び高等部の英語	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級、TOEFL590点(CBT243点)、TOEIC880点以上のいずれかの取得者							
資格要件の確認方法	証明書の写しを出願時に提出する。							
免除される試験科目	英語教科専門試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		3	13				16
	平成21年度採用者数(名)		0	6				6
	平成22年度受験者数(名)		2	16				18
	平成22年度採用者数(名)		0	5				5
	平成23年度受験者数(名)		4	6				10

<英語の資格による免除>

(茨城県)

対象となる校種・教科	中学校・高校の英語	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格の要件を満たし、さらに次の①～③のいずれかの資格を有する者 ①TOEFL600点以上(コンピュータ形式250点以上、インターネット形式100点以上)取得者 ② TOEIC900点以上取得者 ③実用英語技能検定試験((財)日本英語検定協会)1級合格者							
資格要件の確認方法	資格を証明する書類の写しを提出							
免除される試験科目	第1次試験のうち英語の専門教科試験及び口述試験(英会話)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		0	5				5
	平成21年度採用者数(名)		0	1				1
	平成22年度受験者数(名)		2	7				9
	平成22年度採用者数(名)		2	4				6
	平成23年度受験者数(名)		2	8				10

(千葉県)

対象となる校種・教科	中・高共通英語	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL590点(CBTの場合240点、iBTの場合95点、ITPテストは不可)以上取得者又はTOEIC860点以上取得者のうちいずれかに該当する者							
資格要件の確認方法	出願時に合格証書・公開テスト公式認定証の写し(コピー)を提出							
免除される試験科目	専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	小論文が1題多くなり、2題となる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		28					28
	平成21年度採用者数(名)		3	5				8
	平成22年度受験者数(名)		34					34
	平成22年度採用者数(名)		4	6				10
	平成23年度受験者数(名)		41					41

<英語の資格による免除>

(東京都)

対象となる校種・教科	中高共通／英語、特別支援学校／中学部・高等部／英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級、TOEIC900点以上、TOEFL(PBT)600点以上、TOEFL(CBT)250点以上、TOEFL(iBT)100点以上のいずれかに該当するもの							
資格要件の確認方法	第一次選考時(第一次選考免除者は、別途郵送による)に証明書(合格証等)の写しを提出							
免除される試験科目	第二次選考・実技							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		41		2			43
	平成21年度採用者数(名)		7	11	1			19
	平成22年度受験者数(名)		49					49
	平成22年度採用者数(名)		2	20				22
	平成23年度受験者数(名)		50					50

(福井県)

対象となる校種・教科	第2次選考の専門教科試験を英語で受験する者	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす英語免許状の所有者で、平成20年4月1日以降に、実用英語技能検定1級、TOEFL600点(CBT250点、iBT100点)以上、TOEIC900点以上のいずれかの実績を取得した者。							
資格要件の確認方法	実施団体発行の資格証明書							
免除される試験科目	第1次選考試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							11
	平成21年度採用者数(名)							3
	平成22年度受験者数(名)							14
	平成22年度採用者数(名)							6
	平成23年度受験者数(名)							11

<英語の資格による免除>

(三重県)

対象となる校種・教科	中学校教諭「英語」、高等学校教諭「英語」	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定(日本英語検定協会) 1級合格者 「TOEFL」(国際教育交換協議会) PBT600以上、iBT100以上の人 「TOEIC」(国際ビジネスコミュニケーション協会) 860以上の人							
資格要件の確認方法	申請時に資格を証明する書類の写しを提出し、1次選考試験当日に原本確認							
免除される試験科目	第1次選考試験の筆答試験(専門)							
免除された試験に代わり課される試験	該当なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		4	6				10
	平成21年度採用者数(名)		1	2				3
	平成22年度受験者数(名)		3	7				10
	平成22年度採用者数(名)		2	4				6
	平成23年度受験者数(名)		0	7				7

(滋賀県)

対象となる校種・教科	中学校・英語および高等学校・英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級合格者、TOEFL79点(iBT)または550点(PBT)以上の取得者(平成20年7月以降の取得者に限る。)、TOEIC Official Score Certificate780点以上の取得者(平成20年7月以降の取得者に限る。)は希望により免除。							
資格要件の確認方法	志願書の「資格等」欄にその資格の内容を明記し、併せて実施団体の発行する資格証明書の写しを同封させ、第一次選考の筆記試験の日に資格証明書の原本を提示。							
免除される試験科目	専門教科の試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		13	10				23
	平成21年度採用者数(名)		6	4				10
	平成22年度受験者数(名)		10	18				28
	平成22年度採用者数(名)		1	4				5
	平成23年度受験者数(名)		15	14				29

<英語の資格による免除>

(京都府)

対象となる校種・教科	中学校英語、高等学校英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	TOEFL580点(CBTの場合は237点、iBTの場合は92点)以上取得者、TOEIC860点以上取得者又は実用英語技能検定(財団法人日本英語技能検定協会)1級合格者のいずれかに該当する者							
資格要件の確認方法	資格を証明できる書類を第1次試験(筆記試験)当日に持参させて確認している。							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		7	24				31
	平成21年度採用者数(名)		1	3				4
	平成22年度受験者数(名)		11	19				30
	平成22年度採用者数(名)		4	3				7
	平成23年度受験者数(名)		3	21				24

(和歌山県)

対象となる校種・教科	中学校(英語)・高校(英語)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	過去2年間に、TOEFL570点(CBTの場合は220点以上)、TOEIC800点以上、実用英語技能検定1級							
資格要件の確認方法	実施団体等が発行する成績等を証明できる書類の写しの提出							
免除される試験科目	第一次検査の筆答検査(校種・教科専門)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		15					15
	平成21年度採用者数(名)		3					3
	平成22年度受験者数(名)		6	17				23
	平成22年度採用者数(名)		1	4				5
	平成23年度受験者数(名)		2	20				22

<英語の資格による免除>

(山口県)

対象となる校種・教科	中学校・英語、高等学校・外国語(英語)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	34	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級合格者、TOEFL PBT590点以上(CBT243点以上、iBT97点以上)取得者、TOEIC860点以上取得者							
資格要件の確認方法	志願時に、証明書類の提出により確認。なお、写しの場合は、第一次試験当日に原本を持参させ確認する。							
免除される試験科目	英語における筆記試験のうち一部(教科指導法等に関する分野、リスニング及びスピーキングについては受験)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		2	10				12
	平成21年度採用者数(名)		2	3				5
	平成22年度受験者数(名)		3	6				9
	平成22年度採用者数(名)		1	2				3
	平成23年度受験者数(名)		6	7				13

(徳島県)

対象となる校種・教科	中, 高校 英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級合格者、TOEFL580点(CBT237点、iBT92点)以上取得者(ただしIPテストの結果を除く)、TOEIC816点以上取得者(ただし、IPテストの結果を除く)							
資格要件の確認方法	志願書に認定書の写しの提出させ、二次審査には原本確認を行う							
免除される試験科目	英語実技審査							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		6	19				25
	平成21年度採用者数(名)		1	3				4
	平成22年度受験者数(名)		9	18				27
	平成22年度採用者数(名)		2	2				4
	平成23年度受験者数(名)		3	10				13

<英語の資格による免除>

(香川県)

対象となる校種・教科	中学校・英語、高等学校・英語、特別支援学校 中学校・英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	実用英語検定1級合格者 TOEFL580点(CBT237点、iBT92点)以上 TOEIC850点以上							
資格要件の確認方法	資格証明書又は資格を証明できる書類の写しを出願時に提出させ、1次試験の際に原本を確認。							
免除される試験科目	英語専門教養試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		5	15	0			20
	平成21年度採用者数(名)		3	2	0			5
	平成22年度受験者数(名)		1	17	0			18
	平成22年度採用者数(名)		1	2	0			3
	平成23年度受験者数(名)		2	18	0			20

(福岡県)

対象となる校種・教科	中(英語)、高(英語)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	35	歳以下				
資格要件	英検1級、TOEFL(PBT)600点以上、TOEFL(CBT)250点以上、TOEIC900点以上取得者、又はこれらと同等の資格を有する者							
資格要件の確認方法	出願時に資格証明書等を提出							
免除される試験科目	一次の専門教科(リスニングを除く)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		6	18				24
	平成21年度採用者数(名)		3	1				4
	平成22年度受験者数(名)		0	10				10
	平成22年度採用者数(名)		0	2				2
	平成23年度受験者数(名)		0	10				10

<英語の資格による免除>

(宮崎県)

対象となる校種・教科	中学校・英語／高等学校・英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	実用英語検定試験1級合格者、TOFEL595点以上(Computer Based Test243点以上)取得者、TOEIC(財団法人ビジネスコミュニケーション協会)860点以上取得者。							
資格要件の確認方法	合格証の写し又は認定証の写し等、その資格を証明するものを提出。							
免除される試験科目	リスニング実技							
免除された試験に代わり課される試験	無							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		2	11				13
	平成21年度採用者数(名)		2	2				4
	平成22年度受験者数(名)		8	11				19
	平成22年度採用者数(名)		5	5				10
	平成23年度受験者数(名)		2	10				12

(鹿児島県)

対象となる校種・教科	中学校英語, 高等学校英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	実用英語検定1級, 準1級, TOEFL550(PBT), 213(CBT), 79(iBT)点以上取得者, TOEIC 730点以上取得者							
資格要件の確認方法	出願時に証明できる資格の写しを提出(1次試験当日原本確認)							
免除される試験科目	1次試験の英語実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	無し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		31	40				71
	平成21年度採用者数(名)		9	5				14
	平成22年度受験者数(名)		30	38				68
	平成22年度採用者数(名)		9	6				15
	平成23年度受験者数(名)		27	32				59

＜英語の資格による免除＞

(札幌市)

対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校中学部・高等部の英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	中39、高49	歳以下				
資格要件	一般選考の受検資格を満たすこと。 ①実用英語技能検定1級又は準1級の合格者 ②国連英検特A級又はA級の合格者 ③TOEFL－PBT550点(iBTの場合は79点)以上取得者 ④TOEIC－730点以上取得者。							
資格要件の確認方法	該当実施団体の発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写しを出願時に提出。(写しを提出した場合は第1次検査時に原本確認をする。)							
免除される試験科目	第1次検査－英語専門検査(I) 第2次検査－英語実技検査							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		29					29
	平成21年度採用者数(名)		7					7
	平成22年度受験者数(名)		33					33
	平成22年度採用者数(名)		3					3
	平成23年度受験者数(名)		32					32

(千葉市)

対象となる校種・教科	中・高共通英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL590点(CBTの場合240点、iBTの場合95点、ITPテストは不可)以上取得者又はTOEIC860点以上取得者のうちいずれかに該当する者							
資格要件の確認方法	出願時に合格証書・公開テスト公式認定証の写し(コピー)を提出							
免除される試験科目	専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	小論文が1題多くなり、2題となる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		28					28
	平成21年度採用者数(名)		2					2
	平成22年度受験者数(名)		34					34
	平成22年度採用者数(名)		1					1
	平成23年度受験者数(名)		41					41

＜英語の資格による免除＞

(名古屋市)

対象となる校種・教科	全校種	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級 TOEFL PBT600点以上 または CBT240点以上 または iBT95点以上 TOEIC900点以上							
資格要件の確認方法	実績等を証明するもののコピー							
免除される試験科目	専門試験 実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	1	11	11				23
	平成21年度採用者数(名)	1	5	1				7
	平成22年度受験者数(名)	1	8	13				22
	平成22年度採用者数(名)	1	2	3				6
	平成23年度受験者数(名)	7	10	10				27

(京都市)

対象となる校種・教科	全校種	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級 TOEFL PBT600点以上 または CBT240点以上 または iBT95点以上 TOEIC900点以上							
資格要件の確認方法	実績等を証明するもののコピー							
免除される試験科目	専門試験 実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	1	11	11				23
	平成21年度採用者数(名)	1	5	1				7
	平成22年度受験者数(名)	1	8	13				22
	平成22年度採用者数(名)	1	2	3				6
	平成23年度受験者数(名)	7	10	10				27

<英語の資格による免除>

(福岡市)

対象となる校種・教科	中学校及び特別支援学校中学部の英語	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL(PBT)610点以上、TOEFL(CBT)253点以上、TOEIC860点以上、またはこれらと同等の資格を有する人							
資格要件の確認方法	資格を証明できる書類の原本及び写しの提出							
免除される試験科目	1次試験における専門教科の筆記試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		4		0			4
	平成21年度採用者数(名)		2		0			2
	平成22年度受験者数(名)		3		0			3
	平成22年度採用者数(名)		1		0			1
	平成23年度受験者数(名)		5		0			5

(2)情報処理に係る資格による免除

(北海道)

対象となる校種・教科	高等学校、特別支援学校の高等部の工業・商業	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		有				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	特39 高49	歳以下				
資格要件	情報処理技術者試験(独立行政法人情報処理推進機構)基本情報技術者試験合格者(第2種情報処理技術者試験合格者)又は同機構が認定するこの資格と同等以上の資格取得者							
資格要件の確認方法	申請時に資格を証明する書類の写しを提出し、第一次検査の会場に当該資料の原本を持参し係員の確認を受ける。							
免除される試験科目	第一次検査の専門検査							
免除された試験に代わり課される試験	該当なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)			15	1			16
	平成21年度採用者数(名)			3				3
	平成22年度受験者数(名)			17	2			19
	平成22年度採用者数(名)			1	1			2
	平成23年度受験者数(名)			10	1			11

(三重県)

対象となる校種・教科	高等学校教諭「商業」	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	日商簿記検定(日本商工会議所)2級以上かつ基本情報技術者試験(FE)(情報処理推進機構)合格者 公認会計士資格取得者 税理士資格取得者							
資格要件の確認方法	申請時に資格を証明する書類の写しを提出し、1次選考試験当日に原本確認							
免除される試験科目	第1次試験の筆答試験(専門)							
免除された試験に代わり課される試験	該当なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)			2				2
	平成21年度採用者数(名)			1				1
	平成22年度受験者数(名)			3				3
	平成22年度採用者数(名)			0				0
	平成23年度受験者数(名)			3				3

<情報処理に係る資格による免除>

(福岡県)

対象となる校種・教科	高校工業(電気・電子)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	40	歳以下				
資格要件	第一種情報処理技術者試験合格者、ソフトウェア開発技術者試験合格者、又はこれと同等以上の資格を有する者							
資格要件の確認方法	出願時に資格証明書等を提出							
免除される試験科目	一次の専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)			2				2
	平成22年度採用者数(名)			0				0
	平成23年度受験者数(名)							0

(札幌市)

対象となる校種・教科	高等学校、特別支援学校高等部の工業・商業	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	特39 高49	歳以下				
資格要件	一般選考の受検資格を満たすこと。 情報処理技術者試験((財)日本情報処理開発協会)基本情報技術者試験合格者(第2種情報処理技術者試験合格者)又は同協会が認定するこの資格と同等以上の資格取得者。							
資格要件の確認方法	該当実施団体の発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写しを出願時に提出。(写しを提出した場合は第1次検査時に原本確認をする。)							
免除される試験科目	第1次検査－工業・商業専門検査(Ⅰ)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							0
	平成22年度採用者数(名)							0
	平成23年度受験者数(名)							0

＜情報処理に係る資格による免除＞

(福岡市)

対象となる校種・教科	高等学校 工業(電気・電子)	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	第一種情報処理技術者試験合格者, ソフトウェア開発技術者試験合格者, 又はこれらと同等以上の資格を有する者							
資格要件の確認方法	資格証明書又は資格を証明できる書類の写し(写しの提出者は指定された日に原本を提出)							
免除される試験科目	専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)			0				0
	平成22年度採用者数(名)			0				0
	平成23年度受験者数(名)							0

(3) スポーツ・芸術での技能や実績による免除

(茨城県)

対象となる校種・教科	中学校・高校の保健体育	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格の要件を満たし、さらに次の①、②のいずれかの要件を満たす者 ①オリンピック競技大会、アジア競技大会、世界選手権大会又はユニバーシアード競技大会に日本代表として出場した者。ただし、ジュニア選手権等、参加年齢制限を加えた大会を除きます。 ②全日本選手権大会、国民体育大会(成年の部)又は全日本学生選手権大会において、国体又は個人で優勝もしくは準優勝の成績を収めた者(団体競技の場合、正選手として大会に出場した者)。ただし、国民体育大会少年の部等、参加年齢制限を加えた大会を除きます。※競技については、原則として、国民体育大会実施競技(公開競技を含む)としています。							
資格要件の確認方法	競技団体責任者による「スポーツ実績一覧」及び賞状等、業績を証明できる書類の写しの提出							
免除される試験科目	第1次試験のうち保健体育の専門教科試験及び実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	無し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		10	12				22
	平成21年度採用者数(名)		5	2				7
	平成22年度受験者数(名)		7	8				15
	平成22年度採用者数(名)		2	2				4
	平成23年度受験者数(名)		8	13				21

(新潟県)

対象となる校種・教科	中学校・高等学校の保健体育	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	過去4年間に下記の対象種目において、国体、全日本選手権、全日本学生選手権(1部)等の全国規模の大会で入賞した実績を持つ者。 ・学習指導要領で示されてる種目 ・国民体育大会種目(公開競技のうち硬式野球を含む) ・全国総合体育大会(インターハイ)種目 ・全国中学校体育大会種目							
資格要件の確認方法	「実績を証明する書類」として次の(1)または(2)を提出。 (1) 所属または競技団体が発行する競技実績証明書 (2) 実績を証明できる表彰状、新聞記事、結果が掲載された冊子等の写し							
免除される試験科目	第1次検査における体育実技検査5種目のうち1種目							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)		2	5				7
	平成22年度採用者数(名)		1	0				1
	平成23年度受験者数(名)		9	9				18

(福井県)

対象となる校種・教科	第2次選考の専門教科試験を保健体育(スポーツ)、音楽または美術(芸術)で受験する者	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	スポーツ…一般選考の受験資格を満たす保健体育免許状の所有者で、平成17年4月1日以降に、国際レベルの大会に日本代表として出場した者、または全国レベルの大会で優秀な成績を収めた者でそれ以後も引き続き活動を行っている者。 芸術…一般選考の受験資格を満たす音楽または美術免許状の所有者で、平成17年4月1日以降に、国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な実績を収めた者、または、全国レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な実績を収めた者でそれ以後も引き続き活動を行っている者。							
資格要件の確認方法	大会やコンクールの賞状、または主催団体が発行する成績証明書							
免除される試験科目	第1次選考試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							6
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							6
	平成22年度採用者数(名)							0
	平成23年度受験者数(名)							15

(長崎県)

対象となる校種・教科	中学校・高校の保健体育	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場した者、又は日本選手権大会あるいはこれに準ずる大会において優秀な成績を収めた者							
資格要件の確認方法	大会の賞状の写し、又は競技団体が発行する成績証明書等							
免除される試験科目	1次試験のすべて(教職・一般教養、専門教科、体育実技)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		1	5				6
	平成21年度採用者数(名)		1	4	1			6
	平成22年度受験者数(名)		1	4				5
	平成22年度採用者数(名)		1	4				5
	平成23年度受験者数(名)		1	4				5

(鹿児島県)

対象となる校種・教科	中学校保健体育, 高等学校保健体育, 中学校音楽, 高等学校音楽, 中学校美術, 高等学校美術, 高等学校書道	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	保健体育: 過去3年間に出場した全国レベルの大会における実績で, 原則として次の基準を満たす者 (個人種目)8位以内の入賞及びそれと同等の記録等 (団体種目)4位以内でメンバーとして出場した者 芸術(音楽, 美術, 書道): 過去4年間の全国レベルのコンクールや展覧会等で入賞以上の個人成績							
資格要件の確認方法	出願時に証明書の写しを提出(1次試験当日原本確認)							
免除される試験科目	1次試験の体育実技又は音楽実技, 美術実技, 書道実技							
免除された試験に代わり課される試験	無し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)		2	5				7
	平成21年度採用者数(名)			1				1
	平成22年度受験者数(名)		1	9				10
	平成22年度採用者数(名)							0
	平成23年度受験者数(名)		3	14				17

(沖縄県)

対象となる校種・教科	中高体育, 中高美術, 中高音楽	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	40	歳以下				
資格要件	○スポーツ分野・・・中高保体の受験者で, 秀でた技能実績を持ち, 大学等に在学中または社会人として, 国際的規模の競技会(オリンピック, 世界選手権, アジア大会等)に日本代表として出場した者及び指導者。 ○芸術分野(共通音楽, 共通美術の受験者に限る)・・・音楽, 美術の芸術分野において, 秀でた技能・実績を持ち, 大学等に在学中または社会人として, 国際レベルのコンクール, 展覧会等で優秀な成績を収めた者及び指導者							
資格要件の確認方法	国際レベルの大会に参加した証明書, 大会結果の新聞記事, 賞状の写し等, 大会要項の写し, 競技団体が発行する成績証明書など実績を証明するものを添付							
免除される試験科目	一次試験(一般教養, 教職教養, 専門教科, 実技)							
免除された試験に代わり課される試験	スポーツ・芸術での技能や実績による選考課題作文の実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)		1	17				18
	平成22年度採用者数(名)		0	1				1
	平成23年度受験者数(名)		1	14				15

(名古屋市)

対象となる校種・教科	全校種	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ			満	49	歳以下		
資格要件	スポーツの分野において全国規模以上の競技会で優秀な成績を有する人 芸術等の分野において全国規模以上のコンクール・展覧会等で優秀な成績を有する人							
資格要件の確認方法	実績等を証明するもののコピー							
免除される試験科目	専門試験 実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	15	58	14		2		89
	平成21年度採用者数(名)	2	6	2	1			11
	平成22年度受験者数(名)	18	58	20		3		99
	平成22年度採用者数(名)	2	3	1				6
	平成23年度受験者数(名)	6	15	4	1	2		28

(4) 国際貢献活動経験による免除

(宮城県)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	青年海外協力隊(現独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する海外ボランティア派遣制度)として、平成12年4月1日から平成22年3月31日までの10年間において、2年以上の派遣経験。							
資格要件の確認方法	第2次選考時に証明書類を提出							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験2において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	3	1	3		0		7
	平成22年度採用者数(名)	0	0	0		0		0
	平成23年度受験者数(名)	1	2	0		0		3

(茨城県)

対象となる校種・教科	一般選考で採用を予定する全校種・教科・科目	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格の要件を満たし、さらに独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊員として、継続して2年以上の派遣実績を有する者							
資格要件の確認方法	青年海外協力隊事務局長等による派遣実績証明書及び自己推薦書の提出							
免除される試験科目	第1次試験のうち一般教養・教職専門の試験							
免除された試験に代わり課される試験	無し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	1	5	1	0	0	0	7
	平成21年度採用者数(名)	1	4	0	0	0	0	5
	平成22年度受験者数(名)	0	1	2	0	0	0	3
	平成22年度採用者数(名)	0	1	2	0	0	0	3
平成23年度受験者数(名)	3	1	1	0	0	0	5	

<国際貢献活動経験による免除>

(福井県)

対象となる校種・教科	すべての校種、教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊員として平成17年4月1日から平成23年3月31日までの間に2年以上の派遣実績を有する者。							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構が発行する証明書							
免除される試験科目	第1次選考試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							14
	平成21年度採用者数(名)							1
	平成22年度受験者数(名)							7
	平成22年度採用者数(名)							0
	平成23年度受験者数(名)							8

(仙台市)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	青年海外協力隊(現独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する海外ボランティア派遣制度)として、平成12年4月1日から平成22年3月31日までの10年間に於いて、2年以上の派遣経験。							
資格要件の確認方法	第2次選考時に証明書類を提出							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験2において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	3	1	3		0		7
	平成22年度採用者数(名)	0	0	0		0		0
	平成23年度受験者数(名)	1	2	0		0		3

(神戸市)

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、高等学校、養護教諭、栄養教諭、幼稚園	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	平成22年3月31日現在、青年海外協力隊として2年以上の派遣経験を有する者							
資格要件の確認方法	派遣されたことが分かるものの提出等。							
免除される試験科目	教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							5
	平成21年度採用者数(名)							2
	平成22年度受験者数(名)							9
	平成22年度採用者数(名)							0
	平成23年度受験者数(名)		2	1				3

(5)教職経験による免除

(北海道)

対象となる校種・教科	高等学校の一般選考と同じ教科(教科)	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	一般選考(高等学校)の特例・・・昭和36年4月2日以降生まれの現職の高等学校教諭で、国公立高等学校(北海道及び北海道内の市町村が設置する高等学校を除く。)又は私立高等学校における正規任用教員としての教職経験が、平成23年3月31日現在において、引き続き4年以上となるものに受検資格							
資格要件の確認方法	出願時に現在勤務している学校の職歴証明書を提出させ確認							
免除される試験科目	一般選考の第一次検査に実施する教養検査及び教科に関する専門検査を免除。							
免除された試験に代わり課される試験	専門検査Ⅲ(指導案の作成)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)			23				23
	平成21年度採用者数(名)			3				3
	平成22年度受験者数(名)			19				19
	平成22年度採用者数(名)			4				4
	平成23年度受験者数(名)			14				14

(青森県)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格(年齢制限を除く。)を満たし、現に本県公立学校の教諭及び養護教諭である者							
資格要件の確認方法	出願書類への記入、第二次試験における個人面接							
免除される試験科目	一般・教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	2	0	3	0	0		5
	平成21年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成22年度受験者数(名)	0	0	4	1	0		5
	平成22年度採用者数(名)	0	0	1	0	0		1
	平成23年度受験者数(名)	0	0	4	1	0		5

(岩手県)

対象となる校種・教科	小・中・高・特支	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	現に本県の公立・小中学校教員として在職している者で、公立高校、特別支援学校教員を志願する者、及び本県の公立高校、特別支援学校教員として在職している者で、公立小・中学校教員を志願する者。							
資格要件の確認方法	履歴等で確認							
免除される試験科目	1次試験の教職専門と論文							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)	1						1
	平成22年度採用者数(名)							0
	平成23年度受験者数(名)	1		1				2

(宮城県①)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願時に、学校教育法第1条に定められた学校の教諭又は養護教諭に就いている者。							
資格要件の確認方法	出願時に提出する勤務実績報告書、採用候補者名簿登載後に提出する在職証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	59	29	11		5		104
	平成21年度採用者数(名)	8	4	0		0		12
	平成22年度受験者数(名)	43	23	4		1		71
	平成22年度採用者数(名)	4	1	3		1		9
	平成23年度受験者数(名)	8	6	6		1		21

(宮城県②)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校の教育職(実習助手, 寄宿舎指導員, 常勤講師, 非常勤講師, 代替養護教諭, 代替実習助手, 代替寄宿舎指導員)に就いており, 平成19年4月1日から平成22年6月4日までに, 宮城県内・仙台市内の国公立学校で常勤講師又は代替養護教諭としての経験が12月以上ある者。							
資格要件の確認方法	出願時に提出する勤務実績報告書, 採用候補者名簿登載後に提出する在職証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	259	238	33		33		563
	平成21年度採用者数(名)	24	15	0		4		43
	平成22年度受験者数(名)	236	225	22		33		516
	平成22年度採用者数(名)	22	20	2		0		44
	平成23年度受験者数(名)	66	64	30		15		175

(秋田県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	他県で現在、教諭の資格を有している者							
資格要件の確認方法	志願書							
免除される試験科目	総合教養							
免除された試験に代わり課される試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	2	1	0	2	0		5
	平成21年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成22年度受験者数(名)	3	2	0	1	0		6
	平成22年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成23年度受験者数(名)	6	2	4	2	0		14

<教職経験による免除>

(茨城県①)

対象となる校種・教科	一般選考で採用を予定する全校種・教科・科目	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格の要件を満たし、さらに都道府県(茨城県は除く)又は指定都市が実施する教員採用選考に合格し、現在、正規任用の教諭、養護教諭、栄養教諭(いずれも、任期付き採用、臨時的任用及び市(指定都市を除く)区町村採用の場合を除く。以下「教諭等」という。)として勤務し、志願時に3年以上(休職・育児休業等の期間を除く)在職している者。							
資格要件の確認方法	所属長等による勤務実績証明書及び本人の自己推薦書の提出							
免除される試験科目	第1次試験すべて							
免除された試験に代わり課される試験	無し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	16	2	3	2	1	0	24
	平成21年度採用者数(名)	11	0	1	2	1	0	15
	平成22年度受験者数(名)	21	1	3	3	1	0	29
	平成22年度採用者数(名)	13	1	2	2	0	0	18
	平成23年度受験者数(名)	22	2	3	1	4	0	32

(茨城県②)

対象となる校種・教科	一般選考で採用を予定する全校種・教科・科目	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格の要件を満たし、さらに過去に本県又は他の都道府県公立学校の正規任用の教諭、養護教諭、栄養教諭として3年以上(休職・育児休業等の期間を除く)の勤務経験がある者。							
資格要件の確認方法	任用されていた都道府県教育委員会による勤務実績証明書及び本人の自己推薦書の提出							
免除される試験科目	第1次試験のうち一般教養・教職専門の試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成23年度受験者数(名)	6	1	0	1	1	0	9

(千葉県)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	<p>【1 他県現職特例】 ・次の①、②の両方に該当する方 ① 他県等において、現に国公立学校(幼稚園を除く。以下において同じ。)の教諭又は養護教諭として平成22年4月1日現在で、2年以上の実務経験を有する方(任期付以外の正規採用の方に限る。) ② 現に勤務する学校種・教科(養護教諭は養護教諭の選考)へ志願する方</p> <p>【2 本県元教諭特例】 ・次の①～③のすべてに該当する方 ① 平成13年4月1日以降に退職した方 ② 本県の公立学校で教諭・養護教諭として過去に5年以上の実務経験(正規採用に限る。)を有する方 ③ 勤務経験のある学校種・教科(養護教諭は養護教諭の選考)に志願する方</p> <p>【3 本県自習助手特例A】 ・平成23年3月31日現在で、正規の実習助手又は寄宿舎指導員として3年以上の実務経験を有する方 ・本県公立特別支援学校に現に勤務する正規の実習助手又は寄宿舎指導員が特別支援学校に志願する場合に限る。</p> <p>【4 本県実習助手特例B】 ・平成23年3月31日現在で、正規の実習助手又は寄宿舎指導員として3年以上の実務経験を有する方 ・次の①、②のどちらかに該当する方 ① 本県公立特別支援学校に現に勤務する正規の実習助手又は寄宿舎指導員が他校種に志願する場合 ② 本県公立高等学校に現に勤務する正規の実習助手が志願する場合</p> <p>【5 講師等特例】 ・次の①、②の両方を満たす方 ① 本県の公立学校において千葉県・千葉市が任命する臨時的任用又は非常勤の講師・養護教諭(千葉県内の市町村教育委員会が任命するもので、千葉県教育委員会が指定するものを含む。)として、平成21年度勤務実績が週12時間以上である方又は平成22年5月1日現在、週12時間以上勤務している方 ② 次の(ア)又は(イ)のどちらかに該当する方 (ア) 過去3年度(平成19年度から平成21年度)に本県の公立学校における臨時的任用の講師又は養護教諭として、通算12か月以上の実務経験があること。 (イ) 過去3年度(平成19年度から平成21年度)に下のa～dを合算して通算18か月以上の実務経験があること。 a 本県の公立学校における臨時的任用の講師又は養護教諭の実務経験 b 千葉県教育委員会又は千葉市教育委員会が任命する週12時間以上の非常勤の講師又は養護教諭の実務経験 c 千葉県内の市町村教育委員会が任命する非常勤講師・養護教諭で、千葉県教育委員会指定するものの実務経験(特例の対象に該当するか否かは、当該市町村教育委員会に照会すること。) d 千葉県内の国立大学法人附属学校の臨時的任用又は非常勤の講師・養護教諭の実務経験</p> <p>【6 特別臨時的任用講師特例】 平成22年度千葉県・千葉市教員採用選考(平成21年度実施)における特別臨時的任用講師名簿登載者で次の①、②の両方を満たす方 ① 平成22年5月1日現在、臨時的任用講師として任用されている方 ② 現に講師として勤務する学校種・教科(養護教諭は養護教諭の選考)へ志願する方</p>							
資格要件の確認方法	教職経験調書及び職歴証明又は辞令の写し等で確認する。							
免除される試験科目	1・2・3は教職教養と専門教科, 4・5は教職教養, 6は1次選考を免除(2次も個別面接のみ)							
免除された試験に代わり課される試験	1・2・3は小論文が1題多くなり2題となる。4・5・6は、なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	383	546		64	57		1,050
	平成21年度採用者数(名)	80	41	36	17	4		178
	平成22年度受験者数(名)	440	653		101	92		1,286
	平成22年度採用者数(名)	93	55	71	46	8		273
	平成23年度受験者数(名)	467	728		97	77		1,369

(東京都)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	①他県国公立現職(受験校種・教科経験3年以上)、都経験者(受験校種・教科経験3年以上)、都期限付任用者 ②都臨任経験者(受験校種・教科で過去3年に12ヶ月以上)、都準常勤講師(受験校種・教科で前年度認定及び現年度認定又は臨任任用中)、他県国公立臨任(受験校種・教科で過去3年に12ヶ月以上及び現年度も任用中)							
資格要件の確認方法	東京都以外の国公立学校に在職する者については、所定の様式を提出させる。都公立学校における勤務実績は、人事電算等により確認する。							
免除される試験科目	①別途個人面接のみ実施、②第一次選考・択一免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							1,630
	平成21年度採用者数(名)							1,110
	平成22年度受験者数(名)							2,500
	平成22年度採用者数(名)							1,210
	平成23年度受験者数(名)							2,752

(福井県①)

対象となる校種・教科	すべての校種、教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、現在、他の都道府県の国公立学校に勤務している教諭、または養護教諭。							
資格要件の確認方法	在職証明書							
免除される試験科目	第1次選考試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							52
	平成21年度採用者数(名)							1
	平成22年度受験者数(名)							57
	平成22年度採用者数(名)							8
	平成23年度受験者数(名)							60

(福井県②)

対象となる校種・教科	すべての校種、教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、次のいずれかの条件に該当する者。 ①平成22年度教員採用試験2次選考受験者のうち、当該試験後に福井県内の学校(学校教育法第1条に規定する学校)において、講師等の勤務実績がある者。 ②現在教職大学院(専門職大学院設置基準に基づき設置された教職大学院)在学2年次の者で、平成21年度または平成22年度教員採用選考試験を受験し、そのうち直近の試験において第2次選考試験を受験し、専修免許状を平成23年3月31日までに取得見込みの者。							
資格要件の確認方法	在職(在学)証明書または講師等経験を証明できる辞令(写し)の提出							
免除される試験科目	第1次選考試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							416
	平成21年度採用者数(名)							90
	平成22年度受験者数(名)							328
	平成22年度採用者数(名)							90
	平成23年度受験者数(名)							350

(岐阜県①)

対象となる校種・教科	全志願種別	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	他の都道府県の国立大学法人が設置する学校又は公立学校に勤務している本務教員で3年以上の経験を有する者。ただし、現職と同じ校種・教科に限る。							
資格要件の確認方法	該当となる職歴を証明する書類(任免権者による証明がなされたもの)の提出							
免除される試験科目	第1次試験における筆記試験を免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	25	11	4	1	1	0	42
	平成21年度採用者数(名)	15	6	2	1	1	0	25
	平成22年度受験者数(名)	15	8	4	1	0	0	28
	平成22年度採用者数(名)	4	3	1	1	0	0	9
	平成23年度受験者数(名)	24	3	5	6	1	0	39

(岐阜県②)

対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭、 高等学校教諭、特別支援学校教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	県内の公立学校で任期付採用職員又は特任講師として勤務し、所属長や市町村教育委員会の推薦があった者							
資格要件の確認方法	県立学校長あるいは市町村教育委員会より推薦書を提出							
免除される試験科目	第1次試験を免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	16	14	10	5	0	0	45
	平成21年度採用者数(名)	10	9	6	5	0	0	30
	平成22年度受験者数(名)	60	27	30	22	0	0	139
	平成22年度採用者数(名)	33	23	20	19	0	0	95
	平成23年度受験者数(名)	62	18	15	17	0	0	112

(岐阜県③)

対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭、 高等学校教諭、特別支援学校教諭	開始時期			本年度新規			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	選択してください。	満	45	歳以下				
資格要件	平成21年度に1年間、岐阜県内の公立学校で常勤講師として勤務し、更に平成22年4月より県内の公立学校で常勤講師として勤務している者で、所属長や市町村教育委員会からの推薦があった者							
資格要件の確認方法	県立学校長あるいは市町村教育委員会より推薦書を提出							
免除される試験科目	小中学校志望者・・・第1次試験における筆記試験 高校・特別支援学校希望者・・・第1次試験筆記試験における一般教職教養問題							
免除された試験に代わり課される試験	小中学校・・・論文試験 高校・特別支援学校・・・なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成23年度受験者数(名)	117	80	77	82			356

(滋賀県)

対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	44	歳以下				
資格要件	平成23年3月31日現在において、国立大学法人附属学校または公立学校の教諭、養護教諭、栄養教諭または任用の期限を付さない常勤講師(日本国籍を有しないものに限る。)である者で、休職および育児休業の期間を除き、3年以上の勤務経験を有することとなるものにあつては、希望により、第1次選考の一部を免除。ただし、3年以上の教職経験が受験する校種・職種、教科・科目と同一の場合に限る。							
資格要件の確認方法	一部免除を受けた受験者は、第一次選考合格後に、在職証明書等を提出							
免除される試験科目	小・中・養教・栄教：一般教養・教職教養、専門教科 高・特支：一般教養・教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	16	10	1	4	0	0	31
	平成21年度採用者数(名)	11	6	0	2	0	0	19
	平成22年度受験者数(名)	20	9	6	3	2	0	40
	平成22年度採用者数(名)	13	7	3	1	1	0	25
	平成23年度受験者数(名)	26	7	9	3	2	1	48

(京都府①)

対象となる校種・教科	全校種・教科(科目)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	他の都道府県及び指定都市の公立学校、国立大学法人が所管する学校並びに府内の私立高等学校の正規の現職教員の者で、昭和36年4月2日以降に生まれた者。 ただし、現職と同一の校種等及び教科(科目)を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	志願時の書類で確認							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち一般教養と専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	25	6	21	5	3	0	60
	平成21年度採用者数(名)	6	1	2	0	1	0	10
	平成22年度受験者数(名)	22	11	19	5	2	2	61
	平成22年度採用者数(名)	6	4	1	1	1	0	13
	平成23年度受験者数(名)	25	8	16	4	0	1	54

(京都府②)

対象となる校種・教科	全校種・教科(科目)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	全国の都道府県及び指定都市の公立又は国立大学法人が所管する学校の常勤講師又は週10時間以上の非常勤講師として、並びに元正規教員として平成17年度から平成21年度の間に通算2年以上(実勤務月数として通算24月以上)勤務をした経験がある者。 ただし、講師及び教員経験と同一校種等を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	志願書類として「勤務証明書」を提出させて確認する。							
免除される試験科目	第1試験(筆記試験)のうち一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	61	85	86	35	19	5	291
	平成21年度採用者数(名)	10	24	19	10	4	0	67
	平成22年度受験者数(名)	115	127	70	58	27	10	407
	平成22年度採用者数(名)	9	29	18	16	4	0	76
	平成23年度受験者数(名)	145	107	81	50	32	7	422

(大阪府)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	<p>【現職教諭】平成22年4月1日現在、公立学校に在職しており、平成23年3月31日までに通算2年以上の在職経験(休職中である期間を除く。)があること。(昭和40年4月2日以降に出生していること)</p> <p>【常勤講師】平成20年4月1日から平成22年3月31日までの間に大阪府内の公立学校における講師又は養護助教諭としての勤務経験(非常勤の経験は含まない。)がある人で、その勤務経験が平成22年3月31日までに通算5年以上あること。</p> <p>【実習助手又は寄宿舎指導員】平成22年4月1日現在、在職しているとともに、平成22年3月31日までに同職の勤務経験が通算5年以上(休職中である期間を除く。)あること。</p>							
資格要件の確認方法	出願時は、願書により確認。合格後は、在職証明書を提出させて確認。							
免除される試験科目	現職教諭：一次択一式テスト、二次筆答テスト							
免除された試験に代わり課される試験	常勤講師、実習助手・寄宿舎指導員：一次択一式テストに替えて小論文テストを課す							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	323	194	155	26	55	1	754
	平成21年度採用者数(名)							156
	平成22年度受験者数(名)	242	179	183	37	42	1	684
	平成22年度採用者数(名)							124
	平成23年度受験者数(名)	245	190	193	31	44	2	705

(兵庫県①)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	国立大学法人附属学校及び公立学校の現職の教諭、養護教諭、栄養教諭で、平成23年3月31日現在、受験校種・教科と同じ校種・教科を2年以上教えている現職教員。(臨時的任用者は除く。)							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
免除される試験科目	第1次筆答試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	63	19	15	14	12	-	123
	平成21年度採用者数(名)	33	12	6	5	6	-	62
	平成22年度受験者数(名)	63	20	16	9	8	0	116
	平成22年度採用者数(名)	37	10	9	5	5	0	66
	平成23年度受験者数(名)	75	21	18	13	6	0	133

(兵庫県②)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	平成19年度または20年度実施の本県教員採用試験において第1次筆答試験を受験し第1次試験に合格した者で、平成20年4月1日から平成22年3月31日の間に、兵庫県の公立学校(ただし、神戸市立学校を除く)において、①常勤の臨時講師として1年以上の勤務経験を有する者、または、本県教育委員会任用の非常勤講師として1年以上、②正規の勤務時間(週38時間15分)の半分以上勤務、あるいは③週12時間以上授業を担当する者							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	96	73	40	7	13	-	229
	平成21年度採用者数(名)	37	32	14	2	4	-	89
	平成22年度受験者数(名)	130	60	56	13	18	-	277
	平成22年度採用者数(名)	58	25	26	7	5	-	121
	平成23年度受験者数(名)	125	79	57	3	11	0	275

(和歌山県)

対象となる校種・教科	小学校・特別支援学校	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	小学校・特別支援学校の志願者で、過去6年間に48月以上の講師経験があり、受検校種での講師経験が24月以上ある人。							
資格要件の確認方法	人事異動通知書(辞令)の写し							
免除される試験科目	第一次検査の筆答検査(一般教養、校種・教科専門)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	88			22			110
	平成21年度採用者数(名)	30			12			42
	平成22年度受験者数(名)	87			16			103
	平成22年度採用者数(名)	26			7			33
	平成23年度受験者数(名)	80			19			99

(島根県①)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、特別支援学校小学部	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たしている者。 現に国公立の小・中・高・特支等の教諭(正式採用)として勤務している者。							
資格要件の確認方法	・出願時の願書の職歴欄 ・在職証明 ・2次試験受験時に提出する勤務記録カード等の写し							
免除される試験科目	1次試験を免除							
免除された試験に代わり課される試験	特になし。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	16	13	0	1	0	0	30
	平成21年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成22年度受験者数(名)	20	9	0	3	0	0	32
	平成22年度採用者数(名)	11	2	0	0	0	0	13
	平成23年度受験者数(名)	13	8	0	1	0	0	22

(島根県②)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校(農業、工業、水産)、 特別支援学校、養護教諭、栄養教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	54	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たしている者。 国公立の小・中・高・特支等の教諭及び講師(非常勤を除く)として5年以上勤務している者。 40歳以上54歳以下(シニア枠)							
資格要件の確認方法	・出願時の願書の職歴欄 ・在職証明							
免除される試験科目	一次試験の一部(一般・教職教養試験、面接試験)を免除							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成21年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成22年度受験者数(名)	27	6	0	6	8	0	47
	平成22年度採用者数(名)	9	1	0	0	2	0	12
	平成23年度受験者数(名)	16	17	1	5	4	0	43

(山口県)

対象となる校種・教科	すべての校種・教科等	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	44	歳以下				
資格要件	現に他の都道府県において国公立学校(国公立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校)に在籍している教員(任期を定めて任用される者及び非常勤の者を除く。)が、出願時の勤務と同一志願区分で出願した場合							
資格要件の確認方法	出願時に提出させる在職証明書により確認							
免除される試験科目	教職専門試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	28	7	9	3	3		50
	平成21年度採用者数(名)	7	2	4	2	0		15
	平成22年度受験者数(名)	36	11	5	1	1		54
	平成22年度採用者数(名)	7	3	3	0	1		14
	平成23年度受験者数(名)	31	7	10	3	1		52

(高知県)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期			本年度新規			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	他都道府県の国公立学校における現職教員(任期を定めて採用された教員を除く。)で、平成22年3月31日までに通算して3年以上(受審する校種(特別支援学校は各部)、職種、教科(科目)と同一の教職経験があって、休職などの期間を除く。任期を定めて採用された期間を除く。)の勤務経験がある人。							
資格要件の確認方法	願書で確認。							
免除される試験科目	1次審査教職・一般教養筆記審査。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成23年度受験者数(名)	5	2	1	0	0	0	8

(福岡県)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	45	歳以下				
資格要件	・現職者の特例:現に小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の正規教員として勤務している者で、所定の証明書を提出する者 ・講師等経験者の特例:福岡県内の公立学校(北九州、福岡市立及び国立の小・中・特別支援学校(小・中学部)を除く。)の常勤講師、非常勤講師、助教諭、養護助教諭として、過去6年間と受験年度の出願時までの期間に36月以上の勤務経験がある者で、所定の申請書を提出する者							
資格要件の確認方法	現職者の特例:在職証明書、講師等経験者の特例:所定の申請書、辞令の写し							
免除される試験科目	一次の教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	205	233	281		44		763
	平成21年度採用者数(名)	14	22	21		1		58
	平成22年度受験者数(名)	253	233	332		54		872
	平成22年度採用者数(名)	16	18	17		1		52
	平成23年度受験者数(名)	288	309	365		54		1,016

(佐賀県①)

対象となる校種・教科	選考試験を実施する全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	現に都道府県、指定都市の公立学校で正規の教諭又は養護教諭の職にある者で、「一般・教職教養試験免除申請書」を提出した者							
資格要件の確認方法	所属校長の在職証明及び本人が申告した職歴を事務局で照合し確認を行う							
免除される試験科目	一般・教職教養試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	12	6	2	1	0		21
	平成21年度採用者数(名)	0	1	0	0	0		1
	平成22年度受験者数(名)	18	4	7	2	1		32
	平成22年度採用者数(名)	1	2	3	0	0		6
	平成23年度受験者数(名)	22	6	12	2	3		45

(佐賀県②)

対象となる校種・教科	選考試験を実施する全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	下記の要件を満たす者で、「一般・教職教養試験免除申請書」を提出した者 ・平成22年4月1日から6月11日の期間に、本県公立学校に教職員として任用されている者(非常勤講師を含む)で、過去6年間(平成16年度～平成21年度)において、36月以上の在職期間を有する者。(非常勤講師としての期間は在職期間に1/2を乗じて算出する。)							
資格要件の確認方法	所属校長の在職証明及び本人が申告した職歴を事務局で照合し確認を行う							
免除される試験科目	一般・教職教養試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	23	65	38	11	4		141
	平成21年度採用者数(名)	4	9	5	1	2		21
	平成22年度受験者数(名)	30	48	44	14	2		138
	平成22年度採用者数(名)	3	8	8	4	1		24
	平成23年度受験者数(名)	36	63	38	9	5		151

(長崎県)

対象となる校種・教科	小学校・中学校教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	平成22年度において、本県公立小・中学校に臨時的に任用されている者(非常勤講師を含む)で、過去5年間に於いて3か年度以上臨時的任用等教員を経験し、優秀な勤務成績を収めた者。(各年度の任用期間は、長短にかかわらず1年と算定する。)							
資格要件の確認方法	免除申請書を現在勤務する学校の校長あて提出							
免除される試験科目	1次試験の教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	21	13					34
	平成21年度採用者数(名)	2	2					4
	平成22年度受験者数(名)	21	17					38
	平成22年度採用者数(名)	3	3					6
	平成23年度受験者数(名)	64	48					112

(熊本県)

対象となる校種・教科	募集している全ての校種、教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	平成22年5月1日現在で、本県公立学校の臨時的任用教員等として任用されている者で、過去5年間に通算36月以上の本県公立学校の臨時的任用教員等の経験があり、校長等の推薦を受け、県教育委員会において選考された者。							
資格要件の確認方法	提出書類及び人事記録							
免除される試験科目	教職科目・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	11	9	17	4	6	0	47
	平成21年度採用者数(名)	7	6	5	2	1	0	21
	平成22年度受験者数(名)	14	10	16	4	5	0	49
	平成22年度採用者数(名)	5	4	5	2	0	0	16
	平成23年度受験者数(名)	18	6	19	4	3	0	50

(宮崎県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時的任用講師等の経験(出願時の前の年度までの5年間のうち、通算24月以上、本県において、臨時的任用講師及び非常勤講師、または、養護助教諭としての勤務経験がある者) ・ 現職教員(現に公立の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭・養護教諭として勤務している者) ・ 元教員(本県の公立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭・養護教諭としての勤務実績が5年以上ある人。) 							
資格要件の確認方法	申請書と雇用証明書等の提出							
免除される試験科目	1次試験「教職教養」							
免除された試験に代わり課される試験	無							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	203	178	138	90	36		645
	平成21年度採用者数(名)	43	27	16	19	6		111
	平成22年度受験者数(名)	196	171	151	87	36		641
	平成22年度採用者数(名)	27	22	21	16	3		89
	平成23年度受験者数(名)	207	208	137	75	36		663

(沖縄県①)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	37	歳以下				
資格要件	<p>本県国公立学校(幼稚園、大学を除く)の臨任</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成22年3月末までに、平成22年度の本県公立学校臨任の登録申込をした者 ○本県国公立学校の臨任として平成21年度に勤務実績を有する者 ○本県国公立学校の臨任として、直近の過去4年間(H18年度からH21年度まで)で通算36月以上勤務した者 ○本県の選考で重視する視点に掲げた教員としての基本的な資質と専門性を有する者 							
資格要件の確認方法	辞令または履歴書の写し、勤務歴が証明できるものを提出							
免除される試験科目	一次試験(一般教養、教職教養、専門教科、実技試験)							
免除された試験に代わり課される試験	教職経験による選考教育実践報告書の提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	136	132	174	32	7		481
	平成22年度採用者数(名)	0	0	6	2	0		8
	平成23年度受験者数(名)	95	91	129	35	5		355

(沖縄県②)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	40	歳以下				
資格要件	他都道府県の本務教員(教諭、養護教諭) ○他都道府県の国公立学校の正規の現職教員で、7年以上(休職・育児休業等の期間を除く)勤務している者。但し、受験する場合は、同一の校種・教科に限る。 ○勤務経験年数は平成22年3月31日までに7年以上有していること。							
資格要件の確認方法	○勤務記録カードまたは履歴書の写し等、勤務歴が証明できるもの(原本証明があるもの)を提出。							
免除される試験科目	一次試験(一般教養、教職教養、専門科目、実技試験)							
免除された試験に代わり課される試験	「教職教養による選考教育実践報告書」の提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	2	3	5	1	1		12
	平成22年度採用者数(名)	1	1					2
	平成23年度受験者数(名)	1	2	7	2	0		12

(札幌市)

対象となる校種・教科	高等学校教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	一般選考(高等学校)の特例・・・昭和36年4月2日以降に生まれた現職の高等学校教諭で、国公立高等学校又は私立高等学校における正規任用教員としての教職経験が、平成22年3月31日現在において、引き続き4年以上となる者。							
資格要件の確認方法	願書の記載内容及び現在の勤務校の職歴証明書を提出。							
免除される試験科目	一般選考の第1次検査に実施する教養検査、教科に関する専門検査を免除。							
免除された試験に代わり課される試験	指導案の作成							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							0
	平成23年度受験者数(名)							0

(仙台市①)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願時に、学校教育法第1条に定められた学校の教諭又は養護教諭に就いている者。							
資格要件の確認方法	出願時に提出する勤務実績報告書、採用候補者名簿登載後に提出する在職証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	59	29	11		5		104
	平成21年度採用者数(名)	8	4	0		0		12
	平成22年度受験者数(名)	43	23	4		1		71
	平成22年度採用者数(名)	4	1	3		1		9
	平成23年度受験者数(名)	8	6	6		1		21

(仙台市②)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校の教育職(実習助手、寄宿舎指導員、常勤講師、非常勤講師、代替養護教諭、代替実習助手、代替寄宿舎指導員)に就いており、平成19年4月1日から平成22年6月4日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校で常勤講師又は代替養護教諭としての経験が12月以上ある者。							
資格要件の確認方法	出願時に提出する勤務実績報告書、採用候補者名簿登載後に提出する在職証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	259	238	33		33		563
	平成21年度採用者数(名)	24	15	0		4		43
	平成22年度受験者数(名)	236	225	22		33		516
	平成22年度採用者数(名)	22	20	2		0		44
	平成23年度受験者数(名)	66	64	30		15		175

(千葉市)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	<p>【1 他県現職特例】 ・次の①、②の両方に該当する方 ① 他県等において、現に国公立学校(幼稚園を除く。以下において同じ。)の教諭又は養護教諭として平成22年4月1日現在で、2年以上の実務経験を有する方(任期付以外の正規採用の方に限る。) ② 現に勤務する学校種・教科(養護教諭は養護教諭の選考)へ志願する方</p> <p>【2 本県元教諭特例】 ・次の①～③のすべてに該当する方 ① 平成13年4月1日以降に退職した方 ② 本県の公立学校で教諭・養護教諭として過去に5年以上の実務経験(正規採用に限る。)を有する方 ③ 勤務経験のある学校種・教科(養護教諭は養護教諭の選考)に志願する方</p> <p>【3 本県自習助手特例A】 ・平成23年3月31日現在で、正規の実習助手又は寄宿舎指導員として3年以上の実務経験を有する方 ・本県公立特別支援学校に現に勤務する正規の実習助手又は寄宿舎指導員が特別支援学校に志願する場合に限る。</p> <p>【4 本県実習助手特例B】 ・平成23年3月31日現在で、正規の実習助手又は寄宿舎指導員として3年以上の実務経験を有する方 ・次の①、②のどちらかに該当する方 ① 本県公立特別支援学校に現に勤務する正規の実習助手又は寄宿舎指導員が他校種に志願する場合 ② 本県公立高等学校に現に勤務する正規の実習助手が志願する場合</p> <p>【5 講師等特例】 ・次の①、②の両方を満たす方 ① 本県の公立学校において千葉県・千葉市が任命する臨時的任用又は非常勤の講師・養護教諭(千葉県内の市町村教育委員会が任命するもので、千葉県教育委員会が指定するものを含む。)として、平成21年度勤務実績が週12時間以上である方又は平成22年5月1日現在、週12時間以上勤務している方 ② 次の(ア)又は(イ)のどちらかに該当する方 (ア) 過去3年度(平成19年度から平成21年度)に本県の公立学校における臨時的任用の講師又は養護教諭として、通算12か月以上の実務経験があること。 (イ) 過去3年度(平成19年度から平成21年度)に下のa～dを合算して通算18か月以上の実務経験があること。 a 本県の公立学校における臨時的任用の講師又は養護教諭の実務経験 b 千葉県教育委員会又は千葉市教育委員会が任命する週12時間以上の非常勤の講師又は養護教諭の実務経験 c 千葉県内の市町村教育委員会が任命する非常勤講師・養護教諭で、千葉県教育委員会が指定するものの実務経験(特例の対象に該当するか否かは、当該市町村教育委員会に照会すること。) d 千葉県内の国立大学法人附属学校の臨時的任用又は非常勤の講師・養護教諭の実務経験</p> <p>【6 特別臨時的任用講師特例】 平成22年度千葉県・千葉市教員採用選考(平成21年度実施)における特別臨時的任用講師名簿登載者で次の①、②の両方を満たす方 ① 平成22年5月1日現在、臨時的任用講師として任用されている方 ② 現に講師として勤務する学校種・教科(養護教諭は養護教諭の選考)へ志願する方</p>							
資格要件の確認方法	教職経験調書及び職歴証明又は辞令の写し等で確認する。							
免除される試験科目	1・2・3は教職教養と専門教科, 4・5は教職教養, 6は1次選考を免除(2次も個別面接のみ)							
免除された試験に代わり課される試験	1・2・3は小論文が1題多くなり2題となる。4・5・6は、なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	383	546		64	57		1,050
	平成21年度採用者数(名)	15	11		0	1		27
	平成22年度受験者数(名)	440	653		101	92		1,286
	平成22年度採用者数(名)	17	16		4	1		38
	平成23年度受験者数(名)	467	728		97	77		1,369

(浜松市)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、養護教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	H21年度勤務実績を有し、かつ、直近の2年間で通算12月以上勤務した者、又は本県元職(経験5年以上)又は、他県現職で経験2年以上の者							
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校長が作成する勤務実績証明書(元職は体験調書)を提出する。							
免除される試験科目	教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	課題作文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	70	46			12		128
	平成21年度採用者数(名)	32	11			0		43
	平成22年度受験者数(名)	16	52			12		80
	平成22年度採用者数(名)	24	13			2		39
	平成23年度受験者数(名)	56	53			14		123

(名古屋市)

対象となる校種・教科	小学校・中学校・養護教員	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市の講師経験が過去5年間に通算2年以上ある人 ・現在名古屋市以外の国公立学校に本務教諭として勤務し、平成21年度末までに本務教員の任用期間が通算2年以上ある人 							
資格要件の確認方法	所属長の証明がある申請書							
免除される試験科目	総合教養 ※名古屋市の講師経験が過去10年間に通算5年以上の人は、さらに小学校全科を免除 ※本務教諭は、さらに専門試験・小論文を免除							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	143	186			15		344
	平成21年度採用者数(名)	36	41		13	2		92
	平成22年度受験者数(名)	129	149			12		290
	平成22年度採用者数(名)	41	36		0	4		81
	平成23年度受験者数(名)	131	150		14	16		311

(京都市)

対象となる校種・教科	募集を行う全区分(小・中・高・総支・養護・栄養)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	54	歳以下				
資格要件	①(1次試験の一部免除)平成22年3月31日現在で常勤講師として通算して3年以上ある者 ②(1次試験の一部免除)平成23年3月31日現在で現職教員として在籍し、かつ勤務歴が連続して1年以上ある者。 ③(1次試験の免除)平成23年3月31日現在で現職教員として在籍し、かつ、勤務歴が連続して3年以上ある者が、現在勤務する校種及び教科と同一の区分を専願で志願する場合。							
資格要件の確認方法	内定時に在職証明書を提出							
免除される試験科目	資格要件①②…第1次試験 一般教職教養 筆記試験 資格要件③…第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	資格要件③…第2次試験に加えて個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	211	196	41	-	15	-	463
	平成21年度採用者数(名)	23	19	3	-	3	-	48
	平成22年度受験者数(名)	166	182	39	39	15	-	441
	平成22年度採用者数(名)	22	15	2	7	3		49
	平成23年度受験者数(名)	131	158	45	47	9	7	397

(大阪市)

対象となる校種・教科	全て	開始時期		従来から				
		(具体的に)		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	次の(1)(2)(3)の期間が、平成17年4月1日から平成22年4月30日までの間に通算1年以上あること。 (1)大阪市公立学校・幼稚園以外の学校幼稚園における教諭・養護教諭・栄養教諭としての勤務期間 (2)大阪市公立学校・幼稚園における常勤・非常勤講師としての勤務期間 (3)大阪市公立学校における正規職員の実習助手、寄宿舎指導員としての勤務期間							
資格要件の確認方法	在職・勤務証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆答テスト							
免除された試験に代わり課される試験	筆答テストまたは論文テストを出願時に選択する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	192	251	94	83	52	2	674
	平成21年度採用者数(名)	56	63	4	28	2	0	153
	平成22年度受験者数(名)	225	243	82	79	63	2	694
	平成22年度採用者数(名)	53	50	6	12	8	0	129
	平成23年度受験者数(名)	226	237	106	132	68	0	769

(神戸市①)

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、養護教諭、栄養教諭、幼稚園	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳未満				
資格要件	平成23年3月31日現在、国立大学法人附属学校園及び公立学校園の現職の教諭又は養護教諭または栄養教諭で、継続して3年以上の勤務経験を有する者。							
資格要件の確認方法	在職証明書等の提出							
免除される試験科目	教職・一般教養、専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	139	152	0	0	10	0	301
	平成21年度採用者数(名)	41	37	0	0	0	0	78
	平成22年度受験者数(名)	121	158	0	0	15	5	299
	平成22年度採用者数(名)	15	39	0	0	4	1	59
	平成23年度受験者数(名)	38	22	2	3	2	2	69

(神戸市②)

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、養護教諭、栄養教諭、幼稚園	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳未満				
資格要件	神戸市立学校園で臨時的任用教員又は養護担当教員として、平成19年4月1日から平成22年3月31日までに通算2年以上の勤務経験を有する者。							
資格要件の確認方法	辞令、委嘱状の写しの提出							
免除される試験科目	教職、専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	2次試験面接の際に模擬授業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							0
	平成22年度採用者数(名)							0
	平成23年度受験者数(名)	93	121	6	10	13	5	248

(福岡市)

対象となる校種・教科	全校種, 全教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	①公立小学校、中学校及び特別支援学校の正規教諭として現に勤務している人 ②福岡市立学校に常勤及び非常勤講師(勤務日が週16時間以上ある場合に限る。)として任用された人のうち、平成17年4月1日～平成22年5月31日の間に良好に勤務した期間が通算24月以上ある人							
資格要件の確認方法	①については実績証明書(勤務先が記入)を提出。 ②については本市の講師発令データと突合せ確認。							
免除される試験科目	1次試験における教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	119	64		25	6		214
	平成21年度採用者数(名)	19	14		3	0		36
	平成22年度受験者数(名)	142	98		33	11		284
	平成22年度採用者数(名)	15	17		4	1		37
	平成23年度受験者数(名)	133	92		34	11		270

＜前年度の採用候補者名簿登載者であることによる免除＞

(6)前年度の採用候補者名簿登載者であることによる免除

(岩手県)

対象となる校種・教科	全校種	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	前年度試験において、B合格となり、今年度県内公立学校において臨時的任用教員として勤務し、前年度と同一校種同一教科を受験した場合							
資格要件の確認方法	履歴等で確認							
免除される試験科目	一次教職専門、小論文							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							0
	平成22年度採用者数(名)							0
	平成23年度受験者数(名)	3	10	20	0	2		35

(宮城県)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	採用候補者名簿登載者で、採用されなかった場合は、同一校種・教科(科目)を受験する場に限り、次年度の教員採用候補者選考の第1次選考を免除する。							
資格要件の確認方法	前年度採用候補者登載名簿							
免除される試験科目	同一校種・教科(科目)を受験する場合に限り、第1次選考を免除する。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							0
	平成22年度採用者数(名)							0
	平成23年度受験者数(名)							0

(東京都)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	平成22年度東京都公立学校教員採用候補者選考名簿登載者							
資格要件の確認方法	名簿により確認							
免除される試験科目	第一次選考、第二次選考集団面接							
免除された試験に代わり課される試験	個人面接のみ別日程で実施。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							18
	平成21年度採用者数(名)							8
	平成22年度受験者数(名)							24
	平成22年度採用者数(名)							6
	平成23年度受験者数(名)							26

＜前年度の採用候補者名簿登載者であることによる免除＞

(鳥取県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	前年度の教員採用候補者選考試験第二次選考試験の結果、A登載(次年度教員として正式に採用)、B登載(次年度講師として1年間臨時的に任用(欠員の状況によっては教員として正式に採用))、C登載(次年度講師として臨時的に任用)として名簿登載しているが、このうち、B登載の者が本年度出願した場合							
資格要件の確認方法	教育委員会事務局担当課の内部資料による							
免除される試験科目	第一次選考試験 (一般教養・教職教養、集団面接、教育問題に関する討議等、志願する教科・科目の専門試験)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	3	2	1	1	0		7
	平成21年度採用者数(名)	3	2	1	1	0		7
	平成22年度受験者数(名)	2	1	0	1	0		4
	平成22年度採用者数(名)	2	1	0	1	0		4
	平成23年度受験者数(名)	2	0	0	0	0		2

(徳島県)

対象となる校種・教科	登載教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	前年度採用候補者名簿に登載された者の中で、採用されていない者							
資格要件の確認方法	内定通知者名簿							
免除される試験科目	第一次審査							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	3	2	2	1			8
	平成21年度採用者数(名)	3	2	2	1			8
	平成22年度受験者数(名)	0	3	0	0			3
	平成22年度採用者数(名)	0	3	0	0			3
	平成23年度受験者数(名)	3	2	5	0			10

(仙台市)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	採用候補者名簿登載者で、採用されなかった場合は、同一校種・教科(科目)を受験する場合に限り、次年度の教員採用候補者選考の第1次選考を免除する。							
資格要件の確認方法	前年度採用候補者登載名簿							
免除される試験科目	同一校種・教科(科目)を受験する場合に限り、第1次選考を免除する。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							0
	平成22年度採用者数(名)							0
	平成23年度受験者数(名)							0

＜前年度の採用候補者名簿登載者であることによる免除＞

(さいたま市)

対象となる校種・教科	小・中・養教	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	58	歳以下				
資格要件	前年度の補欠者							
資格要件の確認方法	志願書による確認							
免除される試験科目	一次試験							
免除された試験に代わり課される試験	無							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	1	9			1		11
	平成21年度採用者数(名)	1	2			1		4
	平成22年度受験者数(名)	7	8			1		16
	平成22年度採用者数(名)	5	5					10
	平成23年度受験者数(名)	5	19			1		25

(浜松市)

対象となる校種・教科	小学校・中学校・養護教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	平成22年度浜松市小・中学校教員採用選考第2次選考試験の結果、平成22年度新規採用教職員候補者(補欠)となった者							
資格要件の確認方法	担当課による確認							
免除される試験科目	1次選考のすべて							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)	3	1			0		4
	平成22年度採用者数(名)	2	1			0		3
	平成23年度受験者数(名)	4	3	0	0	1	0	8

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(7)前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除

(北海道)

対象となる校種・教科	全学校種別、全教科(科目)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39 (高等学校・自 立活動49)	歳以下				
資格要件	前年度第一次(筆記)検査に合格し、登録にならなかった者で、一定水準の成績を取得した場合には、次年度選考検査で同一の受検区分、受検教科・科目及び採用希望区分で受検する場合に限り第一次検査を免除							
資格要件の確認方法	前年度第一次(筆記)検査の成績							
免除される試験科目	第一次検査(筆記)検査							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)		1	2		1		4
	平成22年度採用者数(名)			1				1
	平成23年度受験者数(名)	2		7		2		11

(福島県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校(全教科)、高等学校(全教科)、特別支援学校(全教科)、養護教諭	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	前年度第1次選考試験合格者で、第2次選考試験を有効に受験し、名簿搭載にならなかった者(採用辞退者を除く)で、前年度と同一の校種・教科(科目)を志願する者							
資格要件の確認方法	志願書に前年度の受験番号を記入させ、昨年度の志願書等で確認する。							
免除される試験科目	第1次選考試験のすべて							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成23年度受験者数(名)	26	16	43	18	10		113

(富山県)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	以下の条件①、②、③のいずれかを満たす者 ①前年実施の検査の補欠者で名簿登録されなかった者 ②前年度または前々年度の第2次検査受検者で、本県での教職経験(臨時的任用講師、養護助教諭、週10時間以上の非常勤の講師もしくは養護助教諭)が通算12月以上 ③大学または大学院在籍中に、前年度の第2次検査受検者で、本県での教職経験(臨時的任用講師、養護助教諭、週10時間以上の非常勤の講師もしくは養護助教諭)が通算1月以上							
資格要件の確認方法	第1次検査一部免除調書と人事記録表等の写しを提出させている。							
免除される試験科目	第1次検査の教養Ⅰ、専門教科筆答検査Ⅰ、専門教科実技検査							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	31	31		5	3		70
	平成21年度採用者数(名)	16	16		2	2		36
	平成22年度受験者数(名)	32	31		6			69
	平成22年度採用者数(名)	17	13		2			32
平成23年度受験者数(名)	54	51		7	4		116	

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(岐阜県)

対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭、 高等学校教諭、特別支援学校教諭	開始時期			本年度新規			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	平成22年度採用岐阜県公立学校教員採用選考試験において第1次選考試験に合格し、更に平成22年4月より県内の公立学校で常勤講師として勤務している者で、所属長や市町村教育委員会からの推薦があった者							
資格要件の確認方法	県立学校長あるいは市町村教育委員会より推薦書を提出							
免除される試験科目	第1次試験における筆記試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成23年度受験者数(名)	60	44	46	15			165

(滋賀県)

対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	前年度第一次選考に合格し、第二次選考を有効に受験し不合格と判定された者のうち、平成21年9月1日から平成23年度滋賀県公立学校教員採用選考試験出願までの間に、滋賀県教育委員会により任用された臨時講師(校種・職種を問わない)として通算して1月以上の経験を有する者は、希望により、第1次選考の一部を免除。ただし、免除できるのは、前年度に合格した第一次選考と同一の校種・職種、教科・科目を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	第一次選考合格後に、前年度第一次選考合格通知および勤務が確認できる辞令写しの提出							
免除される試験科目	一般教養・教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	44	26	6	9	7	0	92
	平成22年度採用者数(名)	24	13	1	2	2	0	42
	平成23年度受験者数(名)	43	25	32	8	3	0	111

(京都府)

対象となる校種・教科	全校種・教科(科目)	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	平成22年度京都府公立学校教員採用選考試験第1次試験の一般教養を受験し、合格した者(第2次試験受験辞退者を除く。)。ただし、平成22年度試験において、受験した同一の選考区分、校種等及び教科(科目)を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	志願書類と前年度データ(氏名、生年月日、試験合否等)により確認							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち一般教養と専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	73	47	38	14	11	2	185
	平成21年度採用者数(名)	20	9	9	6	5	2	51
	平成22年度受験者数(名)	73	34	41	18	8	2	176
	平成22年度採用者数(名)	18	10	5	6	2	1	42
	平成23年度受験者数(名)	66	31	49	21	5	2	174

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(大阪府)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	前年度採用選考について、第1次選考で合格と判定されたうえで、第2次選考を有効に受験し、不合格と判定された人							
資格要件の確認方法	前年度決定通知書(不合格)の裏面に必要事項記入のうえ提出が必要							
免除される試験科目	第1次選考の面接及び筆答テスト							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	327	277	184	25	19	0	832
	平成21年度採用者数(名)							290
	平成22年度受験者数(名)	331	239	182	15	24	4	795
	平成22年度採用者数(名)							382
	平成23年度受験者数(名)	230	243	280	14	14	1	782

(兵庫県)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	平成21年度実施の本県教員採用試験において、第1次筆答試験を受験し第1次合格者に合格した者							
資格要件の確認方法	昨年度の合否資料							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	291	154	116	13	22	-	596
	平成21年度採用者数(名)	135	69	52	2	8	-	266
	平成22年度受験者数(名)	296	177	130	3	19	-	625
	平成22年度採用者数(名)	140	76	60	2	12	-	290
	平成23年度受験者数(名)	181	113	96	13	18	2	423

(奈良県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	40	歳以下				
資格要件	次年度の第1次試験免除の通知を受けた者で、昨年度と同じ校種、教科(科目)等に出願し、学校教育法第9条各号及び地方公務員法第16条の各号のいずれにも該当しない者。県内どこにでも勤務できる者。							
資格要件の確認方法	願書提出時に昨年度の受験番号を記載させ、昨年度のデータと照合して確認する。							
免除される試験科目	第1次試験(教職教養及び集団面接Ⅰ・Ⅱ)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	68	23	3	6			100
	平成21年度採用者数(名)	37	9	0	4			50
	平成22年度受験者数(名)	53	44	7	6	2		112
	平成22年度採用者数(名)	22	14	2	2			40
	平成23年度受験者数(名)	76	41	19	11	3	0	150

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(和歌山県)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	前年度、前々年度に本県教員採用検査の第二次検査を受検し、不合格となった人							
資格要件の確認方法	申請書(受検番号の確認)と前年度、前々年度成績一覧							
免除される試験科目	第一次検査の筆答検査(一般教養)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	42	59	24	8	7		140
	平成21年度採用者数(名)	21	14	6	6	0		47
	平成22年度受験者数(名)	34	46	44	16	7		147
	平成22年度採用者数(名)	18	12	14	5	0		49
	平成23年度受験者数(名)	48	74	62	18	6		208

(広島県)

対象となる校種・教科	本年度募集の各職種・校種・教科・科目	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	昨年度、2次試験を受検した者で、本年度の選考試験を同一の職種・校種・教科・科目で受験する者							
資格要件の確認方法	昨年の受験番号と本人情報により確認							
免除される試験科目	1次試験のすべて							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	109	86	54	5	10		264
	平成21年度採用者数(名)	35	15	15	6	1		72
	平成22年度受験者数(名)	98	78	62	18	5		261
	平成22年度採用者数(名)	21	19	30	13	2		85
	平成23年度受験者数(名)	94	76	93	23	9		295

(山口県)

対象となる校種・教科	すべての校種・教科等	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	※	歳以下				
資格要件	前年度教員採用候補者選考試験第二次試験の不合格者のうち、総合評価ランクがAであるもの(同一の選考区分の志願区分(校種等)の教科(科目等)で志願する場合に限る。)							
資格要件の確認方法	昨年度の選考資料及び第二次試験における本人に宛てた発送文書で確認							
免除される試験科目	第一次試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	17	11	7	0	2		37
	平成21年度採用者数(名)	10	3	5	0	1		19
	平成22年度受験者数(名)	15	16	12	2	3		48
	平成22年度採用者数(名)	5	7	2	1	0		15
	平成23年度受験者数(名)	14	19	13	1	3		50

※年齢制限については、出願資格を満たせば基本的年齢を超えている場合であっても受験を認める。

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(高知県)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	平成22年度第1次審査の合格者、平成21年4月1日から平成22年5月13日までに、本県の公立学校臨時教員として1年以上発令を受けた人。平成23年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査の受審資格(免許、年齢要件等)を有し、同一校種(特別支援学校においては、同一部とする。)教科(科目)の募集がある場合に限る。							
資格要件の確認方法	本人の願書及び受審履歴で確認。							
免除される試験科目	1次審査の一般・教職教養筆記審査、面接を免除。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成23年度受験者数(名)	27	35	38	9	2	1	112

(福岡県)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	40	歳以下				
資格要件	前年度の第1次試験合格者で、前年度に受験した試験区分(高等学校教員については各設置者ごと)及び教科・科目と同一の試験を受験する場合							
資格要件の確認方法	県作成の対象者名簿で確認							
免除される試験科目	一次の教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	38	20	19		3		80
	平成21年度採用者数(名)	9	6	4		2		21
	平成22年度受験者数(名)	50	24	33		3		110
	平成22年度採用者数(名)	16	6	7		0		29
	平成23年度受験者数(名)	61	30	27		4		122

(佐賀県)

対象となる校種・教科	選考試験を実施する全校種・全教科	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	下記の要件を満たす者で、「一般・教職教養試験免除申請書」を提出した者 ・平成22年度佐賀県公立学校教員採用候補者選考試験において第二次試験を受験した者。ただし、本年度も同一試験区分・同一教科を受験した者に限る。							
資格要件の確認方法	前年度の実績で確認							
免除される試験科目	一般・教職教養試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成23年度受験者数(名)	52	29	42	9	6		138

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(大分県)

対象となる校種・教科	採用試験を実施する全校種、教科・科目(社会人特別選考を除く)	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	前年度実施試験において、第1次試験を受験し、第2次試験まで合格した者が、同一の志望種、教科・科目を受験する場合は、希望により第1次試験を免除する。							
資格要件の確認方法	免除を希望する者は、願書の該当欄(希望の有無、前年度実施試験の受験番号・願書記入の氏名)を記入する。担当課において、前年度データとの照合を行う。							
免除される試験科目	第1次試験で実施する試験のすべて							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成23年度受験者数(名)	49	37	41	12	8		147

(札幌市)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	小中特39 高49	歳以下				
資格要件	前年度の採用検査結果通知時に次年度の第1次検査を免除する旨通知があった者。(同一の受験区分、受験教科・科目及び採用希望区分で受験する場合に限る。)							
資格要件の確認方法	前年度(平成22年度(21年度実施))教員採用候補者選考検査の結果通知書の写しを出願時に提出。							
免除される試験科目	第1次検査							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	11	20		11	4		46
	平成22年度採用者数(名)	6	7		4	1		18
	平成23年度受験者数(名)	10	12		3	1		26

(京都市)

対象となる校種・教科	募集を行う全区分(小・中・高・総支・養護・栄養)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	47	歳以下				
資格要件	選考の区分要件を満たし、かつ前年度第1次試験合格者であること。 (ただし、第2次試験辞退者及び内定辞退者を除く)							
資格要件の確認方法	志願書提出時に昨年度第1次試験合格通知書の写しを提出							
免除される試験科目	第1次試験免除(ただし、昨年度第1次試験合格区分と同一区分を専願する場合に限る)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	99	42	8	-	5	-	154
	平成21年度採用者数(名)	31	14	1	-	1	-	47
	平成22年度受験者数(名)	87	28	7	-	5	-	127
	平成22年度採用者数(名)	24	9	1	-	1	-	35
	平成23年度受験者数(名)	130	44	15	9	6	-	204

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(大阪市)

対象となる校種・教科	全て	開始時期		従来から				
		(具体的に)		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	前年度第1次選考で「合格」と判定され、第2次選考で「不合格」と判定された人。一般選考の受験資格を満たす必要がある。							
資格要件の確認方法	前年度第2次選考の結果通知書							
免除される試験科目	第1次選考							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	149	108	3	25	20	0	305
	平成21年度採用者数(名)	73	61	0	12	7	0	153
	平成22年度受験者数(名)	108	104	15	35	14	4	280
	平成22年度採用者数(名)	57	49	3	12	7	1	129
	平成23年度受験者数(名)	125	72	7	31	28	4	267

(広島市)

対象となる校種・教科	本年度募集の各職種・校種・教科・科目	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	昨年度、2次試験を受験した者で、本年度の選考試験を同一の職種・校種・教科・科目で受験する者							
資格要件の確認方法	昨年の受験番号と本人情報により確認							
免除される試験科目	1次試験のすべて							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	109	86	54	5	10		264
	平成21年度採用者数(名)	35	15	15	6	1		72
	平成22年度受験者数(名)	98	78	62	18	5		261
	平成22年度採用者数(名)	21	19	30	13	2		85
	平成23年度受験者数(名)	94	76	93	23	9		295

(福岡市)

対象となる校種・教科	全校種, 全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	前年度実施した福岡市立教員採用候補者選考試験(一般選考)において、第1次試験に合格した人(受験する職種、校種、及び教科が同一の場合に限る。)							
資格要件の確認方法	本市での採用試験データと突合させて確認。							
免除される試験科目	第1次試験における教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	43	31		11	5		90
	平成21年度採用者数(名)	13	6		4	1		24
	平成22年度受験者数(名)	42	59		7	5		113
	平成22年度採用者数(名)	7	19		0	1		27
	平成23年度受験者数(名)	32	56		11	5		104

(8) その他の資格や経歴等を持つことによる免除

(北海道)

対象となる校種・教科	高等学校及び特別支援学校の商業	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	①日商簿記検定1級合格者又は全経簿記検定上級合格者 ②税理士試験の財務諸表論又は簿記論の科目合格者 ③公認会計士又は税理士の資格取得者							
資格要件の確認方法	申請時に資格を証明する書類の写しを提出し、第一次検査会場に当該資料の原本を持参し係員の確認を受ける。							
免除される試験科目	第一次検査:商業専門検査(I)							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)			4				4
	平成21年度採用者数(名)			0				0
	平成22年度受験者数(名)			6				6
	平成22年度採用者数(名)			6				6
	平成23年度受験者数(名)			7				7

(宮城県)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の正規職員(小・中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く)にあり、平成22年4月1日現在において、5年以上継続して同一事業所(系列事業所も含む)に正規職員として勤務している者。							
資格要件の確認方法	採用候補者名簿登載後に提出する在職証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	6	10	8		0		24
	平成21年度採用者数(名)	0	1	0		0		1
	平成22年度受験者数(名)	6	6	7		0		19
	平成22年度採用者数(名)	0	0	0		0		0
	平成23年度受験者数(名)	5	6	7		0		18

(東京都①)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	前々年度名簿登載者							
資格要件の確認方法	名簿で確認							
免除される試験科目	第一次選考、第二次選考集団面接							
免除された試験に代わり課される試験	個人面接のみ別日程で実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							5
	平成21年度採用者数(名)							1
	平成22年度受験者数(名)							11
	平成22年度採用者数(名)							8
	平成23年度受験者数(名)							16

(東京都②)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	平成22年度期限付任用教員名簿登載者							
資格要件の確認方法	名簿で確認							
免除される試験科目	第一次選考、第二次選考(実技)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							101
	平成21年度採用者数(名)							40
	平成22年度受験者数(名)							777
	平成22年度採用者数(名)							189
	平成23年度受験者数(名)							637

(東京都③)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	民間企業、官公庁、学校等において、平成22年3月31日までに、常勤の職としての勤務経験が、通算して5年以上、又は1つの職場で継続して3年以上ある者。ただし、勤務経験には休職等により、勤務しなかった期間を含まない。							
資格要件の確認方法	名簿登載発表後に、受験資格に必要な職務経験を証明できる在職証明書等を提出する。							
免除される試験科目	第一次選考・択一免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							1,278
	平成21年度採用者数(名)							270
	平成22年度受験者数(名)							1,768
	平成22年度採用者数(名)							249
	平成23年度受験者数(名)							2,238

(福井県) (再掲:教職経験による免除)

対象となる校種・教科	すべての校種、教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、次のいずれかの条件に該当する者。 ①平成22年度教員採用試験2次選考受験者のうち、当該試験後に福井県内の学校(学校教育法第1条に規定する学校)において、講師等の勤務実績がある者。 ②現在教職大学院(専門職大学院設置基準に基づき設置された教職大学院)在学2年次の者で、平成21年度または平成22年度教員採用選考試験を受験し、そのうち直近の試験において第2次選考試験を受験し、専修免許状を平成23年3月31日までに取得見込みの者。							
資格要件の確認方法	在職(在学)証明書または講師等経験を証明できる辞令(写し)の提出							
免除される試験科目	第1次選考試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							416
	平成21年度採用者数(名)							90
	平成22年度受験者数(名)							328
	平成22年度採用者数(名)							90
	平成23年度受験者数(名)							350

(大阪府)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	・平成21年度または平成22年度採用選考テストに合格後、大学院進学(在学)を理由として申出書を大阪府教育委員会に提出し、採用を辞退していること。 ・平成22年度中に大学院修士課程を修了すること。							
資格要件の確認方法	辞退届け提出者に願書を送付							
免除される試験科目	第1次選考の面接及び筆答テスト 第2次選考の筆答テスト、実技テスト(対象教科のみ)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	9	6	3	5	0	0	23
	平成21年度採用者数(名)							17
	平成22年度受験者数(名)	14	11	8	0	1	0	34
	平成22年度採用者数(名)							30
	平成23年度受験者数(名)	14	11	16	0	2	0	43

(兵庫県)

対象となる校種・教科	高等学校・看護	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	「高等学校・看護」の免許を有する者で、平成23年3月31日現在、休職、育児休業の期間を除き、国公立及び民間病院等において正規職員の看護師として5年以上の勤務経験を有する者(看護学校等の教官経験を含む)							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	-	-	0	-	-	-	0
	平成21年度採用者数(名)	-	-	0	-	-	-	0
	平成22年度受験者数(名)	-	-	0	-	-	-	0
	平成22年度採用者数(名)	-	-	0	-	-	-	0
	平成23年度受験者数(名)	-	-	0	-	-	-	0

(沖縄県)

対象となる校種・教科	中学技術、高校水産	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		有				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	40	歳以下				
資格要件	志願する校種、教科に関しての高度な専門的知識及び技能を有し、その分野で顕著な実績が有り、現時点において民間企業、官公庁等に正規職員として継続して5年以上勤務経験を有し、教員の職務を行うのに必要な素養と熱意がある者。勤務年数は、平成22年3月31日までに5年以上(休職、育児期間等を除く)有していること。							
資格要件の確認方法	○顕著な実績等を証明するもの(研究論文、賞状、新聞記事、資格証明書の写し等)							
免除される試験科目	一次試験(一般教養、教職教養、専門教科)							
免除された試験に代わり課される試験	社会人を対象とした選考課題作文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)		1	1				2
	平成22年度採用者数(名)		0	0				0
	平成23年度受験者数(名)		0	0				0

(札幌市)

対象となる校種・教科	高等学校、特別支援学校高等部の商業	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	特39、高49	歳以下				
資格要件	一般選考の受検資格を満たすこと。①日商簿記検定1級合格者又は全経簿記検定上級合格者 ②税理士試験の財務諸表論又は簿記論の科目合格者③公認会計士又は税理士の資格取得者							
資格要件の確認方法	該当実施団体の発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写しを出願時に提出。(写しを提出した場合は第1次検査時に原本確認をする。)							
免除される試験科目	第1次検査－商業専門検査(Ⅰ)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)				1			1
	平成21年度採用者数(名)				0			0
	平成22年度受験者数(名)				0			0
	平成22年度採用者数(名)				0			0
	平成23年度受験者数(名)				0			0

(仙台市)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の正規職員(小・中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く)にあり、平成22年4月1日現在において、5年以上継続して同一事業所(系列事業所も含む)に正規職員として勤務している者。							
資格要件の確認方法	採用候補者名簿登載後に提出する在職証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	6	10	8		0		24
	平成21年度採用者数(名)	0	1	0		0		1
	平成22年度受験者数(名)	6	6	7		0		19
	平成22年度採用者数(名)	0	0	0		0		0
	平成23年度受験者数(名)	5	6	7		0		18

(名古屋市)

対象となる校種・教科	小学校	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	平成22年6月に、なごや教師養成塾卒業見込の人							
資格要件の確認方法	卒業見込証明書							
免除される試験科目	総合教養 小論文 口述							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)	64						64
	平成22年度採用者数(名)	58						58
	平成23年度受験者数(名)	63						63

(京都市①)

対象となる校種・教科	中学校・数学, 中学校・理科, 高等学校・数学	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	平成22年3月31日現在, 博士号を取得している者。							
資格要件の確認方法	志願書提出時に学位授与証明書を提出。							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	第2次試験に加えて個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	-	0	5	-	-	-	5
	平成21年度採用者数(名)	-	0	0	-	-	-	0
	平成22年度受験者数(名)	-	3	1	-	-	-	4
	平成22年度採用者数(名)	-	0	0	-	-	-	0
	平成23年度受験者数(名)	-	5	3	-	-	-	8

(京都市②)

対象となる校種・教科	募集を行う全区分(小・中・高・総支・養護・栄養)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	47	歳以下				
資格要件	平成22年3月31日時点で、同一の法人格を有する民間企業又は官公庁等で正社員又は正規職員として3年以上の勤務実績があること。							
資格要件の確認方法	内定時に職歴証明書を提出							
免除される試験科目	第1次試験 一般教職教養 筆記試験							
免除された試験に代わり課される試験	論文試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	23	22	7	0	7	-	59
	平成21年度採用者数(名)	1	0	0	0	1	-	2
	平成22年度受験者数(名)	37	28	7	2	5	-	79
	平成22年度採用者数(名)	3	4	0	0	1	0	8
	平成23年度受験者数(名)	33	36	8	6	6	1	90

(神戸市)

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、高等学校、養護教諭、栄養教諭、幼稚園	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	平成22年3月31日現在、法人格を有する同一の民間企業及び官公庁等において、正社員又は正規職員として継続して3年以上の勤務経験又は青年海外協力隊として2年以上の派遣経験を有する者。							
資格要件の確認方法	在職証明書等の提出							
免除される試験科目	教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	111	135	0	0	39	0	285
	平成21年度採用者数(名)	9	5	0	0	1	0	15
	平成22年度受験者数(名)	61	82	0	0	28	3	174
	平成22年度採用者数(名)	8	0	0	0	2	0	10
	平成23年度受験者数(名)	65	85	8	7	22	2	189

(9) 特定の資格や経歴等を持つことによる加点制度

(三重県)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期					従来から		
資格要件	(ア) 要項に示した組み合わせの複数の教育職員免許状を有する人 (イ) 日常生活や学校現場に必要なポルトガル語またはスペイン語を理解し、特に口頭で表現できる人 (ウ) 中学校教諭または高等学校教諭の「英語」以外の受験者で要項に示した資格を有する人 (エ) スポーツで特に優れた実績をあげた人 (オ) 小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭または特別支援学校教諭で司書教諭の資格を有する人 (カ) 養護教諭受験者で、看護師免許を現に有する人 (キ) 言語聴覚士、理学療法士、作業療法士の資格を現に有する人								
資格要件の確認方法	申請時に資格を証明する書類の写しを提出(ア、ウ、エ、オ、カ、キ) 1次試験当日に原本確認(ウ、エ、カ、キ) 指定した日に面接試験を実施し確認(イ)								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成21年度受験者数(名)							770	
	平成21年度採用者数(名)							198	
	平成22年度受験者数(名)							828	
	平成22年度採用者数(名)							199	
	平成23年度受験者数(名)							898	

(奈良県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学級、養護教諭、栄養教諭	開始時期					従来から		
資格要件	① 小学校または中学校を受験する者で、小学校及び中学校教諭普通免許状を共に有する者 ② 中学校を受験する者で、中学校教諭の複数教科の教諭普通免許状を有する者、ただし、そのうちの音楽、美術、技術家庭とそれ以外の教科の免許状または音楽、美術、技術家庭における複数免許状のいずれかの免許状であること ③ 中・高英語以外を受験する者で、英検2級合格、TOEIC650点以上、TOEFLのPBT500点以上若しくはCBT173点以上、iBT61点以上取得のうちいずれかの資格を有する者 ④ 奈良県公立学校において、平成16年4月1日から平成21年3月31日までの5年間で通算36月以上常勤講師の経験がある者。								
資格要件の確認方法	免許状・資格証明書のコピーの提出								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成21年度受験者数(名)	414	293	44	33	25		809	
	平成21年度採用者数(名)	111	26	9	11	2		159	
	平成22年度受験者数(名)	374	291	26	33	13		737	
	平成22年度採用者数(名)	102	12	0	0	0		114	
	平成23年度受験者数(名)	498	228	64	36	23	5	854	

(愛媛県)

対象となる校種・教科	小(資格要件⑧以外)、中(⑦、⑧以外)、高(⑥、⑦以外)、特支(①、⑥、⑦、⑧以外)、養教(①～③、⑤～⑧以外)、栄教(①～③、⑤～⑧以外)	開始時期	従来から					
資格要件	①スポーツの分野(全国規模の大会出場以上) ②芸術・文化の分野(全国規模以上のコンクール・展覧会等で特に優秀な成績) ③高い英語力(英語検定1級合格者、TOEFL PBT600点以上、TOEIC 860点以上) ④正しい日本語力(日本語検定1級合格者) ⑤司書教諭の有資格者 ⑥特別支援学校教諭免許状取得者 ⑦中学校外国語教諭又は高等学校外国語教諭 ⑧情報の高等学校教諭免許状取得者 ⑨青年海外協力隊派遣(2年間程度) ⑩臨床心理士の有資格者							
資格要件の確認方法	出願時に証明する書類の写しを提出させるとともに、試験当日に現物を確認する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	146	91	116	9	0	0	362
	平成21年度採用者数(名)	50	19	17	3	0	0	89
	平成22年度受験者数(名)	149	89	120	7	0	0	365
	平成22年度採用者数(名)	53	19	18	2	0	0	92
	平成23年度受験者数(名)	157	80	131	10	1	0	379

(高知県)

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期	本年度新規					
資格要件	① 司書の資格・司書教諭資格 ② 臨床心理士、理学療法士、言語聴覚士、作業療法士及び手話通訳士の資格 ③ 小学校教諭受審者については、普通免許状(英語)または普通免許状(理科) ④ 中学校教諭受審者については、中学校の複数教科の免許状 ⑤ 盲学校教諭、聾学校教諭、養護学校教諭又は特別支援学校教諭の普通免許状 ⑥ 英語に関する検定等(アからウのいずれか) ア.「(財)日本英語検定協会が実施する実用英語検定の1級合格者 イ.国際教育交換協議会が実施するTOEFL(ITPIは除く。)PBT580点以上(CBT237点、iBT92点以上)取得者 ウ.(財)国際ビジネスコミュニケーション協会が実施するTOEIC800点以上取得者※ただし、TORFL及びTOEICについては、平成20年7月以降の取得。 ⑦ スポーツ実績(ア、イのいずれか) ア.高等学校卒業以降、オリンピック大会、世界選手権及びアジア大会に日本代表として出場。 イ.高等学校卒業以降、国民体育大会で入賞。							
資格要件の確認方法	願書出願時に資格証明書等、証明となる書類を提出。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成23年度受験者数(名)	51	51	33	31	0	0	166

(佐賀県)

対象となる校種・教科	下記の資格要件参照(⑥、⑦は全校種・全教科)	開始時期	従来から					
資格要件	① 小学校教諭等、中学校教諭等及び特別支援学校教諭等(小学部・中学部)の受験者で、小学校教諭免許状と中学校教諭免許状をともに有する者 ② 中学校教諭等及び特別支援学校教諭等(中学部)の受験者で、中学校教諭の複数教科の免許状を有する者 ③ 小学校教諭等及び中学校教諭等の受験者で、盲学校教諭、聾学校教諭、養護学校教諭又は特別支援学校教諭の免許状を有する者 ④ 高等学校教諭等の受験者で、「福祉」又は「情報」の免許状を有する者(『家庭』の受験者については「調理師」の免許状を有する者も対象とする。) ⑤ 養護教諭等の受験者で、「看護師」又は「保健師」の免許状を有する者 ⑥ 学校図書館司書教諭の資格を有する者 ⑦ 高い英語力(下記のいずれか)を有する者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実用英語技能検定 1級又は準1級合格 ・ TOEFL iBT 92点以上、CBT 237点以上又はPBT 580点以上 ・ TOEIC 850点以上 							
資格要件の確認方法	該当する免許状、証明書の提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	194	89	51	5	-		339
	平成21年度採用者数(名)	45	9	9	0	-		63
	平成22年度受験者数(名)	196	98	48	8	1		351
	平成22年度採用者数(名)	33	15	11	2	1		62
	平成23年度受験者数(名)	255	117	76	12	22		482